

豊かな自然と独自の歴史・文化が光るふるさと中津川

4 豊かな自然ときれいな中津川をつくります

循環型社会の構築

省資源の推進

■廃プラスチック類リサイクル等の調査研究…………… 人件費対応事業

プラスチック類は高カロリーであることから、環境センターのガス化溶融炉を腐食させやすく、それを除くことにより炉の延命を図ることができます。また、分別することにより資源として再利用できるため、廃プラスチック類のリサイクルを具体化する手法等の調査研究を行います。

- ごみ減量推進市民会議等市民参加をいただきながら、廃プラスチック類の回収方法、再利用等について調査・研究を進めます。



■生ごみ堆肥化システムモデル事業…………… 4,120 千円

家庭生ごみの堆肥化の実用化に向け、約100世帯のご協力をいただき、モデル事業を実施して検証を行います。

- 参加世帯等に対するアンケート調査と結果の分析を行います。
- 結果分析や費用対効果の測定等から事業の方向性をまとめ、20年度以降に向けた総括を行います。

■生ごみ処理機等設置事業…………… 1,710 千円

各家庭でできるごみの減量化・資源化の1つの方法として、家庭生ごみ処理機、コンポストを利用した生ごみの自家処理(堆肥化)を促進します。

- 生ごみ処理機等の新規購入者に補助金を交付し、生ごみ処理機等の普及を図ります。
- 購入費の1/2補助、上限2万円、1世帯1台まで補助します。
- 処理機使用者に対するアンケート調査を実施し、事業効果の分析を行います。

■リサイクルボックス設置管理事業…………… 11,098 千円

環境センターに持ち込まれるごみを減らすため、PTAや各種団体による資源回収のご協力のほか、リサイクルボックスを活用して、資源となるごみの回収、資源化を進めています。地域からのご要望に応え、地元管理のリサイクルボックスの設置を増やします。

- 新たに間伐材を活用したリサイクルボックスを5基(加子母2、山口1、坂本1、中津1)設置します。
- 付知のリサイクル倉庫の管理を行います。



【写真:リサイクルボックス(山口地区)】

■廃棄物循環処理施設整備事業……………7,083千円

旧恵北清掃センター焼却施設は、用途廃止後早期に解体撤去し地権者へ返還することになっています。そのため、旧中津川市清掃センター焼却施設も合わせ、この解体事業を「廃棄物3R(再資源化・最終処分量の最少化・再利用)」を推進する循環型社会構築のための施設整備に位置付けて、7箇年計画で進めます。



【写真:旧恵北清掃センター焼却施設】

- 平成20年度解体予定の旧恵北清掃センター焼却施設の実施設計を行います。

豊かな自然の保全と活用

自然環境の保全

■公共下水道事業（中津川処理区）……………670,520千円

現計画区域942haの計画的な整備、一日も早い全体計画区域1,210haの整備完了のため事業を展開します。「豊かな自然ときれいな中津川」を目指し、平成17年11月に認定を受けた地域再生計画に基づき、計画的な財源確保ができる「汚水処理施設整備交付金」(平成17年度～21年度までの間)を活用して下水道整備計画を進めます。

- 中津川・駒場・手賀野・一部落合の管渠整備、マンホールポンプの設置等を行います。
- 中津川浄化管理センターの水処理設備の更新工事を行います。
- 地震により避難施設のトイレが使用不能になった場合に対応するための「耐震対策緊急整備計画」を策定します。
- 後年度に整備する箇所測量設計を行います。

■公共下水道事業（坂本処理区）……………316,200千円

全体計画280ha、汚水処理人口10,500人、平成32年度の事業完了を目指し、有利な財源である合併特例債等を活用し一日も早く供用開始が出来るよう事業を推進します。

- 管渠・処理場の実施設計を行います。
- 処理場用地の買収を行います。

■特定環境保全公共下水道事業（苗木処理区）……………528,402千円

「汚水処理施設整備交付金」を活用して、現計画区域150haの整備を進めます。

- 管渠整備、マンホールポンプの設置等を行います。
- 苗木浄化管理センター水処理施設の残る1/2系列の増設工事を行います。

■農業集落排水事業（阿木地区）……………235,707千円

「汚水処理施設整備交付金」を活用して、平成19年夏の供用開始を目指します。

- 処理場の場内整備を行います。
- 管渠整備を行います。
- 管渠路施設、コンポスト施設の実施設計を行います。



【写真:農業集落排水事業阿木地区処理場(建設中)】

■合併処理浄化槽設置整備事業……………72,555千円

「汚水処理施設整備交付金」を活用して、下水道等の集合処理区域外での合併処理浄化槽設置に対し、補助金の交付を行います。

- 国・県の補助対象基数 170基(補助率:国・県・市各 1/3)
- 市単独基数 10基

■新衛生センター建設事業……………113千円

現在の衛生センターは昭和42年度の供用開始から40年を経過し老朽化が激しく、維持補修経費が年を追うごとに大きくなっています。また、循環型社会形成の推進の観点から汚泥の再生処理等資源化施設を含めた新たな処理施設の建設が必要です。このため、これまで適地の選定等の検討を進めてきましたが、19年度からは具体化に向けた準備に取り組みます。

- 適地選定の結果に基づく地元協議等を進めます。

■河川改修事業……………8,000千円

自然共生型の河川整備を行い、環境に配慮した親しみやすい癒しと憩いの川づくりを進めます。

- 多自然型護岸により津戸井川(中津川公園付近)の改修を行います。「環境保全型ブロック」を使用し、階段設置により親水性を高めます。延長は30mです。

■坂本川河川改修に伴う JR アンダーパス関連整備事業……………110,000千円

県事業である坂本川河川改修事業に併せて、JR中央線の下を通すアンダーパス道路の拡幅をアロケーション(事業者間の配分割合の負担)により行い、JR中央線により分断された区域のアクセス改善と坂本駅周辺住宅密集地の交通量軽減を図ります。事業は平成14年度より着手しており、平成20年度に完了する予定です。

- 右岸道路を線路下に通すための右岸ボックスの設置工事を行います。
- 右岸取付擁壁の工事を行います。

きれいな中津川づくり

景観の保全と環境美化

■景観形成推進事業……………17,033千円

地域が育んできた特色ある美しい景観を守り、住民が誇りを持って後世に継承していくことが求められているなか、自主的な取り組みを続けてきた馬籠地域の景観形成を手本として、景観計画の策定、景観条例の制定を行います。また、事業推進のため、重点地区を設け住民による景観形成への支援制度と公共空間の整備を行います。

- 景観を守っていくためのルールづくりと整備計画の作成を行います。
- 馬籠、落合の重点地区において、「住民が取り組む建築物、工作物等の修景、緑化活動等」に対して助成を行います(まちなみ景観形成事業補助金)。財源として、「美しいまちづくり景観整備基金」と有利な財源である「まちづくり交付金」を活用します。
- 平成20年度以降に計画している本町中山道地区整備の基本設計を行います。



【写真:落合本陣】

5 キラリと光る歴史・文化の中津川をつくります

歴史・文化を大切にしまちづくり

文化の振興

■蛭子座改修事業…………… 220,000 千円

蛭子座(蛭川公民館)は、蛭川地域の学習・文化・スポーツ活動等の生涯学習の拠点として、また、地歌舞伎等の伝統芸能活動の場としても重要な施設です。また、全国に現存する25の劇場型木造建築物のうち3つが市内にあり、その一つであるという大変貴重な建物であることから、平成18年度に市有形民俗文化財として指定しました。この貴重な建物の佇まいを損なうことなく改修することにより、地域の皆さんの活動拠点として、全国にも広く情報発信していきます。有利な財源である「まちづくり交付金」、「合併特例債」を活用して、平成20年度完成に向けて整備を行います。

- 本体工事に着手します。

■市民自主企画学習教室事業…………… 140 千円

団塊の世代の大量退職に伴い、市民が「地域のために何かしたい。」、「退職後に何かを学びたい。」というニーズが高まることが考えられ、そうしたニーズを実現する場として、公民館を中心とした身近な生涯学習施設における教室・講座やサークル活動を充実する必要があります。そのため、教室・講座を企画する段階から実際に学習する側の市民の皆さんに加わっていただき、協働して事業を推進します。また、講師やアドバイザーなどにご活躍いただける方の人材登録も併せて進めます。

- 広報で募集を行い、教室や講座の共同企画を行います。当初は5講座を予定しています。

■芸能文化人づくり事業…………… 5,443 千円

各地域の伝統芸能は長年地域で培われてきた大切な地域特性であり、これを守り育てていくことが地域の多様性を伸ばすことにつながります。そのため、伝統文化保存団体への支援を行い、保存・継承活動の活性化を図ります。

- 市地歌舞伎保存会連絡会と各地歌舞伎保存会へ支援交付金を交付します。
- 恵那文楽の保存会活動に対する伝統芸能活用支援交付金を交付します。
- 11月3日に開催を予定している「岐阜県文楽・能大会」の実行委員会に交付金を交付します。
- 伝統芸能活動のための備品を整備します。(美濃坂下太鼓保存会)

歴史文化遺産等の保護・保存

■中山道沿線建造物調査整備事業…………… 32,433 千円

中山道筋には中津川宿脇本陣森家、中津川村庄屋肥田家(現曾我家)、落合宿本陣井口家、茄子川村小休所篠原家などの貴重な歴史的建造物があります。所有者のご理解をいただいで、これらの建物を保存・整備し、公開・活用することで、歴史的景観の保護、魅力ある街道のまちとしてPRを行い、交流人口の拡大を図り、賑わいのあるまちづくりにつなげていきます。

- 脇本陣森家の整備(実施設計、建物改修)を行います。
- 落合本陣井口家の建物の学術調査を行います。
- 馬籠峠付近の歴史的建物群の調査を行います。
- 飛騨街道筋の歴史の道の調査を行います。



【写真:中津川宿脇本陣森家土蔵】

■国指定天然記念物加子母のスギ環境整備事業…………… 470 千円

国指定天然記念物の加子母のスギの樹勢の弱まりが見られたことから、年次別整備計画に基づき保護環境整備事業を実施します。平成16年度から樹木医の指導を得て土壌改良を行いスギの南側の樹勢は安定してきましたが、本年度は北側部分について、岐阜県文化財保護審議委員の指導に基づく樹勢回復のための応急処置を行います。

- 樹勢を弱めていると思われる北側のコンクリート石垣の撤去を行います。

■苗木城跡整備保存事業…………… 18,131 千円

「苗木城跡保存整備事業策定書」に基づき計画的に整備を実施します。指定面積約15万7千㎡の内、各郭、道、石垣等約3万㎡を整備します。(本丸・二の丸・三の丸跡の各郭約2万㎡、総延長約500m の石垣修理、城跡内に残る約1,200m の道の整備、約30箇所の遺構の説明板の設置)

石垣整備が終了し、平成17年度から苗木城頂上部にある本丸跡整備に着手しており、観光客の利便性を高めるため、城内道の整備を行います。

- 二の丸跡から本丸玄関口門跡に至る道と帯郭跡を整備します。



【写真:復元された苗木城跡天守の柱・梁】

多様な文化とのふれあいの促進

交流の促進

■国内交流事業…………… 1,600 千円

姉妹都市との国内交流事業は、島崎藤村を通じての旧山口村と長野県小諸市及び神奈川県大磯町、海山交流の旧付知町と愛知県幡豆町、ひとつばたごを通じた旧蛭川村と長崎県対馬市の3つの地域で相互訪問や野球スポーツ少年団の交流試合などが行われています。これらの交流に対する支援を行い、郷土の再認識と新たな地域づくりにつなげます。

- 山口地域は、8月の大磯町での海水浴、10月の「ふるさと馬籠ごへー祭り」で、児童交流を行います。
- 付知地域はスポーツ少年団が主体となって、4月には幡豆町で野球交流試合と潮干狩り等、7月には付知で同じく交流試合とマスつかみ等の交流を行います。
- 蛭川地域は、5月の「ひとつばたご祭り」での相互訪問による交流、7月の「国境マラソンin 対馬」、7月の児童生徒の訪問及び11月の「MAIKA 祭」の受け入れ等の交流を行います。

まちづくりを支える ‘ちから’

6 たくましく生きる人づくり

子どもたちの生きる力を育てる教育の推進

教育の充実

■親の意見の教育現場への反映事業…………… 人件費対応事業

意見を伝える手段として「教育長への直行便」、困ったときの駆け込み寺として「学校なんでも相談室」、親と教育関係者との対話の場として「移動教育委員会」を開設し、「親の意見の教育現場への反映」に努めています。

- 19年度はこれまでの状況を踏まえてさらに充実し、保護者と教育現場の距離を縮めていきます。



【写真:移動教育委員会】

■確かな学力推進事業…………… 6,928 千円

読み書き計算など学習の基礎基本はもとより、児童生徒一人ひとりに確かな学力を身に付けさせるため、児童生徒の学力の客観的な把握と、それに基づくきめ細かな指導、授業の改善を進めます。

- 教科書採択時の教科書・指導書の配布、学力検査・知能検査とその分析を行います。

■夢と創造力を育む総合的学習の推進事業…………… 7,200 千円

ふるさとを愛し、たくましく生きる人材を育成するため、小学校1・2年生が学ぶ「生活科」と小学校3年生から中学校3年生が学ぶ「総合的な学習の時間」の充実を図ります。全ての小中学校を対象とし、自然体験、栽培・飼育活動、地域の人々との交流体験等、環境、福祉、情報、国際理解を推進します。

- 地域の自然や歴史・文化に関わる学習時間を工夫し、社会科・理科などの学習で地域の自然や歴史・文化の学習を充実します。
- こうした学習を有識の市民に手伝っていただくため、人材バンクの機能を有効活用し、活用事例を広く紹介していきます。

■「郷土かるた」を通じての中津川市再発見支援事業…………… 1,000 千円

子どもたちがお互いの地域を知り、良さを学び、連帯感を育むということが重要であることから、そのための有効な手立てとしてこの地域にしかない「郷土かるた」を活用した地域づくりへの支援を行い、新市の一体感、連帯感の醸成を図ります。

- 事業主体である実行委員会(中津川青年会議所ほか)の取り組みに対し、補助金の交付等の支援を行います。(実行委員会では、「郷土かるた」を1200部[予定]作成し、坂下小学校をモデル校として普及を図るとともに、「郷土かるた大会」を開催する計画です。)
- 公民館の親子教室での「かるた教室」開催や青少年健全育成推進市民会議の支部活動や子ども会活動に活用します。

■社会科副読本「わたしたちの中津川市」活用事業…………… 1,104 千円

身近な素材から自分の住むまちのことを学ぶ「ふるさと教育」の一環として、社会科副読本「わたしたちの中津川市」の活用を図ります。この副読本は小学校3年生全員に配布して授業を行っていますが、合併に伴い17年度に全面改訂を行ったところです。

- 社会科副読本「わたしたちの中津川市」を作成し、小学校3・4年生を中心に授業で活用します。

■学校コンピューター整備事業…………… 75,194 千円

児童生徒がコンピューターの役割や機能を理解し、情報を適切に活用する基礎的な能力を育成するため、すべての学校にパソコン教室を設置していますが、未だに Windows98 を使用している学校も多く、インターネット環境の変化により表示に時間を要する等授業に支障をきたしています。また、教員用として配置されているコンピューターはほとんどが共有のものであることから、私用のコンピューターを使用せざるを得ない状況にあり、セキュリティの面でも不安が残る状態です。こうした状況を改善するため、各小中学校に配置している学習用コンピューターの更新と教員用コンピューターの設置を計画的に進めます。

- 小学校の学習用コンピューターを53台更新します。
- 中学校の学習用コンピューターを144台更新します。
- 教員用コンピューターを100台設置します。

■国際理解（外国人助手派遣）推進事業…………… 41,910 千円

児童生徒が外国語にふれたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなどの体験的な学習を通じて、国際感覚の基礎を培うとともに自国文化の再発見を促すため、外国人助手を派遣し指導に当たります。

- 年間を通して ALT9名（うち1名は東白川村との協議による雇用）を保育園・幼稚園・小学校・中学校へ派遣します。

■サマーサイエンススクール事業…………… 3,500 千円

生徒の理科離れ・科学離れを解消し、科学の楽しさ・不思議さ、物づくりの楽しさ、人間の英知と自然の偉大さを実感する機会とします。生徒に科学技術に対する興味関心を持たせ、将来、科学技術に携わる人材の輩出を目指します。

- 全国から科学に興味ある中学2年生80名を集め、東海地区国立大学共同中津川センターで3泊4日の研修を行います。大学教授を中心にした講師陣から「情報伝達・生命科学・宇宙科学・ロボット工学」という最先端の科学を学びます。



【写真：2006 岐阜サマーサイエンススクール】

教育環境の整備

■のびのび学習充実事業…………… 74,338 千円

児童生徒の個々の学習状況に応じたきめ細かい指導や軽度発達障害など個別の支援が必要な子どもへのサポートを行うため、小中学校等に指導助手を配置します。単年度で目標とする状態に到達することは難しいため、成果の検証を行うとともに、教員定数に関する国、県の動向を見ながら見直しを図ります。

- 小中学校に29名、幼稚園に1名の指導助手を配属します。（配置は、小中学校の学校規模、在籍する児童生徒の状況などを勘案して決定します。）

■小学校大規模改造補強事業…………… 28,923 千円

子どもたちの安全を確保し、安心・快適・健康的な教育環境をつくるため、計画的に改修整備を行い、耐久性を高め快適な教育環境を確保していきます。整備は建物の耐震性と老朽度の視点から優先順位付けした年度別整備計画に基づいて進めます。

- 次年度の整備に備えた耐震補強・大規模改造補強の実施設計を行います。（蛭川小学校校舎・山口小学校校舎・阿木小学校校舎と屋内運動場）



【写真：蛭川小学校校舎】

■奨学金貸付事業…………… 117,102 千円

経済的理由で就学に支障がある生徒に対し奨学金貸付けによる助成を行っていますが、平成19年度は恵那北高校の統合の年となるため、遠距離通学となる恵那地区の高校生の需要増を見込み、枠を20名分拡大します。

- 大学生60万円、高校生36万円、合わせて100名程度の奨学金貸与を見込んでいます。

子どもの文化・スポーツ活動の推進

■文化鑑賞事業…………… 1,456 千円

市内全小中学校生を対象として、本物の芸術に興味関心を持ち、その素晴らしさに感動できる、心豊かな子どもに育てるため、「オーケストラ等の音楽鑑賞」、または「演劇等の舞台芸術」を鑑賞する「芸術鑑賞会」を開催します。鑑賞料は受益者負担ですが、会場へのバス費用を補助します。

- バス借り上げ33台

■パブリックビューイング事業…………… 889 千円

子どもと大人が一緒になって大きなスポーツ大会や身近に感じる選手の活躍を見ることにより、子どもたち自身がスポーツへの取り組みや夢を描ける場とするとともに、感動を共有することで親子の絆づくりの一助とするため、パブリックビューイングを開催します。

- 平成19年度に開催が予定される国際大会や各種の全国大会、地方大会、地元選手・チームの出場する大会等でテレビ放映などの条件をクリアするものをピックアップします。



【写真：昨年のサッカーワールドカップ大会観戦の様子】

■子どもたちのスポーツ教室開催事業…………… 1,383 千円

子どもたちにスポーツを通じて夢や希望を持たせるとともに、スポーツの楽しさ、体を動かすことの楽しさ、ルールを守ることの大切さを学び、自分で考え進んで行動する力を育てるため、プロスポーツ選手や選手OBを活用した普段では体験できないスポーツ教室を開催します。また、指導者等に団塊の世代のパワーを取り入れていきます。

- キャッチボール教室、サッカー教室の開催を計画しています。

■総合型地域スポーツクラブ推進事業…………… 529 千円

地域の子どものスポーツ活動を活発化するためには、子どもたちが自転車、歩行で通える範囲にスポーツ活動の拠点が必要です。現在、阿木と付知で活動が行われていますが、各総合事務所単位での設置を目指して、地域の皆さんの力による自主自立的なスポーツクラブの設立・運営を支援します。

- 阿木あんきスポーツクラブ(阿木)、つけちジュニアスポーツクラブ(付知)に活動交付金を交付します。
- 新たに設立する蛭川総合型地域スポーツクラブ、やさか(山口・坂下・川上)総合型地域スポーツクラブに活動交付金を交付します。
- 市内他地域における総合型地域スポーツクラブの設立準備を行います。
- 指導者養成講習会を開催します。

健全育成の推進

■笑顔で登校事業…………… 19,818 千円

当市には、平成18年10月現在、完全不登校を含め不登校傾向を示す児童生徒が約50名います。この水準は全国や近隣市の平均を下回るものの、子どもを取り巻く環境の難しさから予断を許さない状況にあります。こうした状況に対応するため、心に不安を持つ児童生徒に対する支援、新たな不登校を生まないための事業展開を積極的に行います。

- 適応指導教室(かやの木教室・あけぼの教室)において、不登校児童生徒に対して、学校復帰に向けた心理療法的な観点からの学習指導及び相談活動を行います。
- 不登校児童生徒に関わる教職員や保護者に対して相談活動及びサポートを行います。
- 県が行う「心のサポーター設置推進事業」を受け、市内小学校3校に各1名の「心のサポーター」を配置し、悩みを抱える児童への相談活動等を行います。

スポーツの推進

スポーツ活動の推進

■中津川公園整備事業（野球場整備等）…………… 849,803 千円

東濃東部には硬式野球のできる公認野球場はなく、試合は遠くに出掛けなくてはならないなど非常に不便な状況にあり、競技者や指導者等から早期建設が強く要望されてきました。こうした声に応え、本格的な施設でプレーでき、また、レベルの高い本物のプレーを見る機会を生み出す野球場を、有利な財源である「都市公園事業費補助金」、「合併特例債」を活用して整備しています。この事業は、「スポーツ活動の推進」のみならず、「子どもたちのたくましく生きる力を育てる。」ことにも大きく寄与します。



【図：中津川公園野球場完成予想図】

- 野球場本体工事の残りの部分を行い、平成20年3月までに完成します。(内野スタンド、外野スタンド、グラウンド、スコアボード、一部照明設備等)
- 駐車場の整備を行います。

■中津川公園野球場完成記念式典…………… 954 千円

平成20年3月に中津川公園野球場が完成します。多くの市民に完成を報告し施設を知っていただくため、記念式典及び内覧会を開催します。完成記念イベントについては、3月の完成時では芝も十分生え揃わないため、芝が活着する時期(20年度)に開催する予定です。

- 完成記念式典、内覧会を開催します。

■中津川公園競技場3種公認整備事業…………… 9,671 千円

中津川公園競技場は、県大会レベルの公認記録を認定できる3種公認の競技場となっており、公認期限が平成20年5月に迫っています。しかし、制度改正に伴いトラック等の損傷箇所を改修しなければ、再度3種公認を受けることができない状況にあります。東濃東部の拠点施設として、引き続き3種公認を受けるため、規定の要件を満たすための改修工事を行います。

- トラックのウレタンオーバーレイ、内縁石調整、コースラインマーキング等の改修を行います。

■スポーツ施設備品整備事業…………… 42,967 千円

市内のスポーツ施設は老朽化した施設が多いため、この施設を安全に使用できるように部分的な修繕を行います。また、中津川公園野球場や東美濃ふれあいセンターに必要な備品の整備を行います。

- 各スポーツ施設の修繕を行います。
- 野球場の備品を整備します。
- 東美濃ふれあいセンターの柔道畳を整備します。

■第 1 回中津川市総合体育大会開催事業…………… 1,500 千円

東濃体育大会において、合併後の平成17年度、18年度と当市が2連覇しましたが、まさに旧8市町村の地域が持てる力を結集し、統一的に行動することで活力を増して、勝ち取ることができたという合併効果の賜物といえます。こうした中で、選手の発掘や競技技術の向上をより一層高めるため、市民スポーツ祭を大会形式に変更し、各地区対抗の総合体育大会として開催します。



【写真:合併記念駅伝大会】

- 体育協会、競技団体等関係者のご協力をいただきながら、開催方法等を決定していきます。

■国民体育大会開催準備事業…………… 24 千円

平成24年の岐阜国体開催に伴い、当市はレスリング競技会場としての内定を受けています。中京学院大学、中津商業高校のレスリング部は全国大会出場レベルの成績を収めており、国体での活躍が期待されます。市民挙げて国体を盛り上げ全国に中津川市をPRし、今後のスポーツ推進につなげていくため、その準備に着手します。

- 県の国体準備事務局との打ち合わせ、競技種目協会との調整などを行います。

生涯学習の推進

生涯学習活動の推進

■図書購入事業…………… 12,000 千円

幅広い市民ニーズに応えるため図書館・図書室の蔵書の充実を図ります。乳幼児向けの絵本から中高年者向けの専門書まで、利用者のご意見に基づく図書購入を行います。

- 購入図書は、市立図書館(中央館)、蛭川済美図書館(地域館)、6公民館図書室へ配置します。

人権が尊重される社会の形成

■いじめ対策事業…………… 500 千円

「いじめ」が原因の痛ましい事件を繰り返さないようにし、子どもたちが遊び・学び・夢を持ちながら安全安心に暮らせる社会を確保するため、いじめ問題を教育現場だけに押し付けるのではなく、社会全体の問題として、家庭・地域・市役所などが連携し一体となっていじめ問題の解決に取り組みます。

- 「安全・安心まちづくり推進市民会議」に「いじめ対策部会」を設置し、1)予防対策事業、2)早期発見事業、3)早期対応事業を実施します。
- 具体的には、保護者向けいじめ早期発見のしおり、小中学生向けいじめ相談窓口のしおり、人権啓発リーフレット、学校の教室内や掲示板に掲示するポスター等を作成します。
- いじめ相談所の充実を図ります。

7 互いに助け合うコミュニティづくり

コミュニティの形成

コミュニティ活動の推進

■市民の協力による生活道路整備事業…………… 20,000 千円

市内には道路の幅員が狭く効率的な消防活動、急患の速やかな搬送に支障をきたしている道路が多くあります。こうした生活道路について、路線の改良整備を計画段階から住民参加型の事業として地域の皆さんの協力を得て進めるとともに、材料等を支給し地元施工による整備を行います。

- 地元施工による地域協力支援として、材料等の支給、必要に応じて重機借り上げを行います。



【写真：市民の協力による生活道路整備（中津川・徳原地区）】

活動拠点の充実

■坂本ふれあい施設建設事業…………… 155,174 千円

子ども達が安全で安心して過ごすことができる居場所を確保し、団塊の世代や高齢者の知識・経験を活かした世代間交流を推進するため、「子どもと高齢者のふれあいの場」として、旧坂本公民館跡地に「坂本ふれあい施設」(仮称)を建設します。今後の展開として地域の集会施設等を活用し、「子どもと高齢者のふれあいの場」を設置するためのモデルケースとします。

- 設計及び本体工事を行い、平成20年4月にオープンします。

■地域集会施設整備事業…………… 28,145 千円

集会所やクラブ等の地域集会施設の整備に対し補助を行い、地域コミュニティの形成を図るとともに、災害時における緊急避難場所としての機能整備を促進します。

- 地域集会施設の新築・改修または購入の経費に対して補助を行います。
- 補助の対象は延べ床面積が50㎡以上の建物で、補助金の額は工事費等の25%以内、限度額は600万円です。

■苗木コミュニティセンター整備事業…………… 3,000 千円

現コミュニティセンターは築38年の建物で老朽化が進み、また、駐車場が小学校との兼用であることから駐車スペースが少なく、早期の改築が求められています。苗木地区の住民の皆さんの合意に基づいて、1)地域から親しまれ、使い勝手が良く、満足感を与えられる施設、2)住民と行政が一体となった地域文化の創造拠点となる施設、3)管理運営がやさしく、身体的弱者にも配慮した施設、として整備を行います。

- 建物の詳細について地元との協議を行い、敷地・建物の規模・仕様等内容を決定し、建物の基本設計などを行います。

8 市民が主役の市役所づくり

行政改革の推進

行政改革推進体制の整備

■市民による行政評価委員会運営事業…………… 2,666 千円

「市民による行政評価委員会」に客観的な立場から評価を行っていただき、市民が望まない事業をスクラップし市民が真に望む事業への転換を図り、より少ない人員と予算で運営できるよう市役所のスリム化を図ります。評価結果は委員会として取りまとめの後、市長への提言という形で示していただきます。

- 委員会10回、小委員会20回、座長会議16回程度の開催を予定しています。

■女性懇談会開催事業…………… 人件費対応事業

地域の様々な声をお聞きする場として第3巡回の開催となる平成19年度は、運営方法等これまでの反省点を踏まえた改善を図ります。

- 広報広聴課と進捗管理課とが連携し、担当部局での取り組みの整理と促進を図ります。
- 懇談会のスタイル等について改善を図り、さらに充実します。



【写真:女性懇談会(加子母地域)】

スリム化

■職員提案による事務改善…………… 人件費対応事業

業務を簡素化し、仕事に費やす労力や経費を削減するのは、本来その仕事の内容を熟知している担当職員であるはずで。そのため、担当業務をルーティンワークとして捉えず、日々改善を意識し業務の無駄を省きます。また、他の業務にも関心を持ち、「素朴な疑問」、「ひらめき」からでも担当業務以外の事務改善提案を積極的に行います。

- 平成18年度の反省点を踏まえ提案方法等の改善を図り、職員の事務改善提案を活性化します。

■職員の意識改革による市役所力アップ…………… 人件費対応事業

市長公約に掲げられた「1)公僕として公平・公正な行政を行い、約束を守る。2)対話を大事にし、市民の願いを受けとめる。3)実行の市政を進める。4)市民が主役の行政に変える。」の4つの姿勢に従って、職員が 1)「公平、公正」な行政を進める判断力、2)わかりやすく説明し、市民の皆さんの声を聴く対話力、3)現状を分析し、課題を明らかにし、その解決策を立案する思考力の3つの力を身に付け、職員力のアップに努めます。また、コミュニケーションを活発にし、各課、各部のチーム力のアップを図ります。

- 全国で起こっている様々な問題や出来事に関心を持ち、自分なりに分析し、「中津川市はどうか?」、「今のままでいいのか?」、「市民だったらどう考えるか?」 そうした観点から日々物事を捉え、判断する力を養います。
- 物事をよく噛み砕いてわかりやすく優しい言葉で説明し、相手の気持ちになって市民の皆さんからのご要望を聴くことができるよう、オン・ザ・ジョブ・トレーニング(仕事を行う中で訓練すること)など、様々な機会を捉えて努力します。
- 現状を分析する幅広い知識習得と情報収集に努め、論点を確実に捉え、解決の道筋をしっかりとつけられるよう、様々な機会を捉えて努力します。
- 部あるいは課として、「市民にどのような基本方針で、どのようなサービスを、どのような形で提供していくのか」を、所属する職員が統一した見解と意識を持ち、職責に応じた役割分担をさらに明確化するとともに、日々意志の疎通を図って無駄なく効率的に仕事を進めます。

9 社会基盤の整備(一部再掲あり)

■ 福祉

- 心身障害者小規模授産所整備事業…………… 1,500 千円
- 老人福祉施設建設補助事業(恵那市岩村町特別養護老人ホーム)…………… 5,000 千円
- 次世代育成中核施設建設事業(中津川保育園移転新築)…………… 377,544 千円
- 公立保育園大規模改修事業(小鳩保育園大規模改修事業)…………… 2,400 千円
- 市民病院外来棟機能拡充事業…………… 198,000 千円

■ 安全・便利

- 防災備蓄整備事業…………… 4,944 千円
- 大新田急傾斜地崩壊防止事業…………… 19,200 千円
- 市民安全情報ネットワーク推進事業…………… 2,877 千円
- 道路凍結防止事業…………… 3,000 千円
- 交通安全施設整備事業…………… 38,744 千円
- 消防ポンプ自動車等整備事業…………… 53,376 千円
- 坂本交番敷地造成事業(坂本交番の移転)…………… 7,903 千円
- 防犯灯設置事業…………… 5,320 千円
- 公営住宅整備事業…………… 36,382 千円
- 木造住宅等耐震補助事業…………… 13,600 千円
- 水道未普及地区の解消事業(中津川上地区・神坂塩野地区)…………… 人件費対応事業

■ 道路

- 道路整備基本計画策定事業…………… 5,000 千円
- 市民病院アクセスルート整備事業(松源寺～大平線道路改良事業)…………… 9,000 千円
- 国道 19 号恵中拡幅(4車線化)関連事業…………… 32,500 千円
- 中津 485 号線道路改良事業…………… 17,000 千円
- 坂本 114 号線道路改良事業…………… 100,000 千円
- 県営農免農道(ふるさと椿街道)整備事業負担金…………… 21,500 千円
- 県営農免農道(乙姫農道)整備事業負担金…………… 21,500 千円
- 幹線道路整備事業(津戸～那木線道路改良事業)…………… 120,000 千円
- 県営事業負担金…………… 27,000 千円
- 道路新設改良事業…………… 223,400 千円
- 緊急3箇年道路整備事業…………… 95,000 千円
- 電源立地地域対策事業(道路舗装補修)…………… 55,000 千円
- 市民の協力による生活道路整備事業…………… 20,000 千円
- 道路維持補修事業…………… 160,753 千円
- 橋りょう新設改良事業…………… 53,146 千円

■ 情報

- 情報通信ネットワーク整備事業…………… 733,189 千円

■ 産業

- 企業立地対策事業(企業立地・事業所設置・雇用促進奨励金)…………… 62,568 千円
- 企業立地対策事業(工場適地調査事業)…………… 1,156 千円
- 県営松田ため池整備事業負担金…………… 8,795 千円
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(まごめ地区)…………… 24,375 千円

- 県営中山間地域総合整備事業負担金(蛭川地区)…………… 13,000 千円
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(恵北地区[坂下・付知・福岡地区]) …… 65,000 千円
- 県営水環境整備事業負担金(枕の湖地区)…………… 13,125 千円
- 土地改良事業(県単・団体営)…………… 84,766 千円
- 農地・水・環境保全向上対策事業…………… 11,369 千円
- 公共木曾越林道開設事業…………… 90,000 千円
- 公共大平林道舗装事業…………… 15,000 千円
- 県単林道整備事業…………… 50,000 千円
- 畜産環境整備事業…………… 4,286 千円
- 中山道整備事業(馬籠・落合地区)…………… 128,000 千円

■ 自然

- 公共下水道事業(中津川処理区)…………… 670,520 千円
- 公共下水道事業(坂本処理区)…………… 316,200 千円
- 特定環境保全公共下水道事業(苗木処理区)…………… 528,402 千円
- 農業集落排水事業(阿木地区)…………… 235,707 千円
- 合併処理浄化槽設置整備事業(全域)…………… 72,555 千円
- 新衛生センター建設事業…………… 113 千円
- 河川改修事業…………… 8,000 千円
- 坂本川河川改修に伴う JR アンダーパス関連整備事業…………… 110,000 千円
- 景観形成推進事業…………… 17,033 千円

■ 歴史・文化

- 蛭子座改修事業…………… 220,000 千円
- 中山道沿線建造物調査整備事業…………… 32,433 千円
- 苗木城跡整備保存事業…………… 18,131 千円

■ 人づくり(教育・生涯学習・スポーツ)

- 学校コンピューター整備事業…………… 75,194 千円
- 小学校大規模改造補強事業…………… 28,923 千円
- 中学校大規模改造補強事業…………… 15,038 千円
- スクールバス購入事業…………… 12,285 千円
- 中津川公園(野球場整備等)整備事業…………… 849,803 千円
- 中津川公園競技場3種公認整備事業…………… 9,671 千円

■ コミュニティ

- 坂本ふれあい施設建設事業…………… 155,174 千円
- 地域集会施設整備事業…………… 28,145 千円
- 苗木コミュニティセンター整備事業…………… 3,000 千円

■ 土地(地籍調査等)

- 地籍調査事業…………… 140,803 千円

10 今日の課題事業群(一部再掲あり)

■ 安全安心まちづくり事業群

- 安全安心まちづくり事業…………… 2,661 千円
- 身の回りの危険の除去事業…………… 236 千円
- AED設置事業…………… 1,235 千円
- 交通安全推進事業…………… 12,052 千円
- 交通安全施設整備事業…………… 38,744 千円
- 道路凍結防止事業…………… 3,000 千円
- 中津川地区防犯協会負担金…………… 4,204 千円
- 安全サポート推進事業(防犯パトロール活動)…………… 641 千円
- 市民安全情報ネットワーク推進事業…………… 2,877 千円
- ホームページの充実…………… 人件費対応事業
- 地域非行対策部会…………… 53 千円
- 防犯灯設置事業…………… 5,320 千円
- 坂本交番敷地造成事業(坂本交番の移転)…………… 7,903 千円
- 消費生活相談事業…………… 440 千円
- 青少年健全育成推進市民会議(少年補導部会による街頭活動など)…………… 5,100 千円
- 笑顔で登校事業…………… 19,818 千円
- いじめ対策事業…………… 500 千円
- 「子ども 110 番の家」事業…………… 人件費対応事業

■ 2007年プロジェクト事業群

- 健康づくり推進事業…………… 8,072 千円
- ものづくり人材紹介(人材バンク)事業…………… 3,429 千円
- 勤労者総合支援センター事業…………… 12,121 千円
- 農業者確保対策事業…………… 216 千円
- 夢と創造力を育む総合的学習の推進事業…………… 7,200 千円
- 子どもたちのスポーツ教室開催事業…………… 1,383 千円
- 市民自主企画学習教室事業…………… 140 千円
- 文化スポーツ事業…………… 11,284 千円

■ 少子化対策事業群

- 次世代育成支援対策の推進…………… 人件費対応事業
- 母子保健事業(マタニティストラップの配布、特定不妊治療費助成など)…………… 22,511 千円
- 乳幼児等医療費扶助事業(小学生入院費無料化)…………… 6,595 千円
- 次世代育成中核施設建設事業(中津川保育園移転新築)…………… 377,544 千円
- 公立保育園大規模改修事業(小鳩保育園大規模改修事業)…………… 2,400 千円
- 乳幼児健康支援一時預り事業…………… 162 千円
- 世代間交流フロア一運営事業…………… 事業費はにぎわいプラザ運営事業に含まれる
- 放課後児童健全育成事業(学童保育所の運営支援)…………… 32,274 千円
- 児童館運営事業…………… 17,600 千円
- 児童手当支給事業…………… 668,550 千円
- ファミリーサポートセンター事業…………… 6,838 千円
- 子育て支援対策事業…………… 5,077 千円
- UIターン者用住宅整備事業…………… 人件費対応事業
- 放課後子ども教室推進事業…………… 252 千円
- 坂本ふれあい施設建設事業…………… 155,174 千円

11 各地域において実施する主な事業(一部再掲あり)

■ 中津地域

- 中津川保育園整備事業
- 小鳩保育園耐震補強・大規模改修設計
- 中津522号線舗装補修工事
- 中津485号線道路改良工事
- 恵下～尾外岩線道路改良工事
- 中津287号線道路改良工事
- 中央道跨道橋耐震補強設計
- 松田排水路新設工事
- コミュニティバス車両購入
- 第一中学校プールサイド改修工事
- 地域集会施設整備事業(補助金)

■ 阿木地域

- 宮ノ腰～新田線道路改良工事
- 阿木1号線道路改良工事
- 大門前～竹之下線道路改良工事
- 中尾林道改良工事
- 農業集落排水事業(阿木地区)
- 阿木小学校校舎耐震補強・大規模改造実施設計
- 阿木小学校屋内運動場耐震補強・大規模改造実施設計
- 阿木中学校トイレ増設工事

■ 苗木地域

- 津戸～那木線道路改良事業
- 津戸～那木線道路排水路整備工事
- 城山排水路整備工事
- 上地排水路改修工事
- 夜明けの森フィールドアスレチック改修工事
- 特定環境保全公共下水道事業(苗木処理区)
- 苗木城跡整備保存事業
- 苗木コミュニティセンター整備事業

■ 神坂地域

- 神坂22号線道路改良工事
- 神坂23号線道路改良工事
- 向山地区飲料水供給(組合運営)の簡易水道事業への組み込み
- 大谷霧ヶ原林道改良工事
- 寄沢川河川改修工事
- 神坂中学校放送設備設置工事
- 地域集会施設整備事業(補助金)

■ 坂本地域

- 坂本交番敷地造成事業
- 坂本114号線道路改良事業
- 国道19号恵中拡幅関連事業
- 中垣外橋架け替え工事
- 坂本266号線歩道設置工事
- 中洗井地区農道舗装工事
- コミュニティバス車両購入
- 公共下水道事業(坂本処理区)
- 坂本川河川改修に伴う JRアンダーパス関連整備事業
- 津戸井川河川改修事業
- 曙地区基幹排水路整備工事
- 坂本中学校南棟西屋上防水工事
- 坂本ふれあい施設建設事業
- 地域集会施設整備事業(補助金)

■ 山口地域

- 県営農免農道(ふるさと椿街道)整備事業負担金
- 塚～新茶屋線舗装補修工事
- 山口14号線道路改良工事
- 山口49号線道路改良工事
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(まごめ地区)
- 田代地区排水路改修工事
- 大海道農道整備工事
- 麻生飲料供給施設基幹改良設計・工事
- 農山村女性チャレンジ支援事業
- 中山道整備事業
- 山口小学校校舎耐震補強・大規模改造実施設計

■ 落合地域

- 向山～新茶屋線道路改良事業
- 落合西山生活関連道路整備工事
- 落合40号線防護柵設置工事
- 落合23号線改良工事 (JR歩道アンダーパス)
- 平石用水取水口改修工事
- 中山道整備事業
- 地域集会施設整備事業(補助金)

■ 坂下地域

- 上鐘団地線側溝改修工事
- 坂下75号線道路改良工事
- 堀懸～新田線防護柵設置工事
- 椈の湖多目的施設整備工事
- 高性能農業機械導入事業(補助金)
- 県産材需要拡大施設等整備事業
- 坂下公民館空調改修工事
- 県営農免農道(乙姫農道)整備事業負担金
- 県営水環境整備事業負担金(椈の湖地区)
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(恵北地区)
- 林道下線舗装工事
- 向山集落環境保全整備工事

■川上地域

- 田畑用水改良工事
- 田之尻用水改良工事
- 防災備蓄整備事業
- 川上小学校受変電設備改修工事

■加子母地域

- 神ノ木～杉ヶ平線(橋りょう)測量設計
- 神ノ木～杉ヶ平線道路改良工事
- 加子母50号線道路改良工事
- 木曾越林道開設事業
- 島頭首工改修工事
- 一の谷林道総合改良工事
- 加子母中学校外壁防水工事
- スクールバス購入事業
- ふれあいのやかた消火設備誘導灯設備工事

■付知地域

- 中野～芝ヶ瀬線道路改良工事
- 大新田急傾斜地崩壊防止工事
- 宮の上～下浦線落石防止工事
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(恵北地区)
- 大平林道舗装工事
- 大山地区排水路改良工事
- 尾ヶ平地区排水路改良工事
- 熊倉(Ⅱ)林道改良工事
- 大平林道改良工事
- 屋敷垣戸林道舗装工事
- 袖農道舗装工事
- 上付知簡易水道・白谷取水施設改良工事
- 県産材需要拡大施設等整備事業
- 観光事業(付知峡整備・維持管理)
- 付知クリーンセンター汚泥処理関連事業
- 地籍調査事業

■福岡地域

- 心身障害者小規模授産所整備事業
- 福岡121号線舗装補修工事
- 長根橋～芝線道路改良工事
- 福岡230号線道路改良工事
- 福岡323号線道路改良工事
- 長根地区排水路改修工事
- 県営中山間地域総合整備事業負担金(恵北地区)
- 中組排水路改良工事
- 上之平排水路改良工事
- 恵北林道法面改良工事
- 本郷農道舗装工事
- 付知川右岸用水補修工事
- 高山小学校校舎ベランダ防水工事

■蛭川地域

- 蛭川20号線舗装補修工事
- 蛭川91号線道路改良工事
- 蛭川40号線側溝改良工事
- 大豆品質向上施設整備事業(補助金)
- 自給飼料生産振興対策事業(補助金)
- 中山間地域総合整備事業負担金(蛭川地区)
- 黒岩林道舗装工事
- 蛭子座改修事業
- 蛭川小学校校舎耐震補強・大規模改造実施設計
- 蛭川小学校給食センター耐火被覆撤去工事

12 主な地域振興特別予算事業

■独自のイベント

- 中津川夏まつり(全域)
- ふるさと馬籠ごへー祭り(山口)
- 与三郎まつり(坂下)
- 栴の湖そばの花まつり(坂下)
- フィールドフォーク事業(坂下)
- 還暦マラソン事業(坂下)
- ふるさとまつり(川上)
- 産業祭(川上・福岡)
- ふるさとまつり(加子母)
- つけち夢まつり(付知)
- つけち森林の市(付知)
- レディースクラフトフェア(付知)
- ふるさと祭り(福岡)
- かけ歩き事業(福岡)
- ひとつばたご祭り(蛭川)
- MAIKA 祭(蛭川)

■コミュニティの形成

- 地域住民運動会(旧町村地域)
- 地域づくり支援事業(中津地域)
- かわうえケーブルテレビ自主番組制作事業(川上)
- 婦人会助成事業(加子母・付知・蛭川)

■独自の文化

- 風起こし事業(加子母)
- 明治座活用事業(加子母)
- 姉妹都市交流事業補助金(山口・付知・蛭川)
- 熊谷守一大賞事業(付知)
- 歌舞伎保存会活動補助(坂下・加子母・福岡・蛭川)
- 杵振り花馬伝承事業(蛭川)

■新しいまちづくり・産業おこし

- 美しいまちづくり景観整備事業(山口)
- 木曾観光連盟負担金(山口)
- 産直住宅組合補助事業(中津・坂下・加子母・付知・福岡・蛭川)
- 全村公園化事業(川上)
- 植樹祭(川上)
- 緑の募金公募事業(桜満開プロジェクト)
- 石彫のつどい(蛭川)
- 岐阜県花崗岩販売協同組合補助金(蛭川)

VI 市長公約の仕上げ状況

市長所信表明での「公約を風化させることなく、着実に実行して、市民の皆さんの熱い期待に応えてまいります。」の言葉どおり、公約の実行は市民の皆さんとの信頼関係の素として、市役所が一丸となってその推進に取り組んできました。公約のうち、「7つの取り組み」の仕上げ状況と19年度の取り組み内容を以下にお示します。

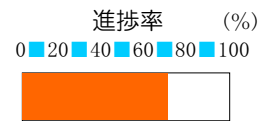
生活者の視点に立ち、市民が主役の行政に変えます。

1 日々新たなスピード行政、効率行政をすすめます。

■ 市民を待たせない、たらい廻しにしないサービスを行います。

【18年度までの取り組み(以下の項目も同様です。)]

- 17年度に市民サービスに関する苦情の聞き取り調査(1000件)を行い、ご回答いただいた苦情について、それぞれの職場でサービス改善策を検討し実践しています。
- 18年10月各職場に接遇リーダーの設置、接遇研修やあいさつ月間の実施など接遇向上策を実施し、全庁的に接遇向上に取り組んでいます。



- 右端の「進捗率」は、市長公約の進捗状況について平成19年1月現在の状態を進捗管理課がとりまとめたものです。
- 16年度から19年度末までの取組みを100%として、現在の達成状況(=どのあたりまで進んだか)を表します。

【19年度の計画(以下の項目も同様です。)]

- 接遇研修や接遇マニュアルによる接遇向上を図ります。
- 接遇リーダーを中心に各職場でサービス改善策と接遇向上策を実践します。
- 業務マニュアルの作成及び見直しを行い、事務改善を進めます。

■ 小学校区ごとに市政に関する女性懇談会を設置します。

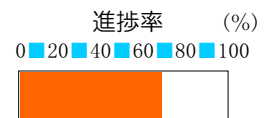
- 16年度の中津西・阿木・中津東地区での開催を皮切りに、17年度には旧町村地域も含め全地域で開催し、18年2月から8月までの間に第2巡目の懇談会を完了しました。
- 回答内容が言いっぱなし、聞きっぱなしにならないよう、進捗状況を管理しています。



- 広報広聴課と進捗管理課とが連携し、取り組み状況の整理・促進を図ります。
- 懇談会のスタイル等について改善を図り、さらに充実します。

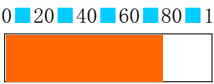
■ 市民による行政評価委員会を設置し、ムダを省き、税金を大切に使います。

- 市民による行政評価委員を19人委嘱し、717の事業について取り組んでいただきました。その結果、平成18年12月までに388の事業の評価を行っていただき、3月下旬に最終報告をいただく予定です。
- これに加え、年度末までに職員事務改善提案に対する評価もいただきます。



- 18年度に引き続き、事業に対する評価作業を行っていただきます。
- 市民による行政評価の流れを改善しつつ定着させていきます。

■ 施設利用時間を市民が利用しやすいよう見直します。

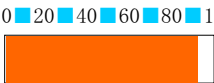
<ul style="list-style-type: none"> 文化スポーツ施設を中心に利用状況やニーズ調査をもとに、18年4月から公民館等22施設で利用時間の延長等を試行的に実施しています。 利用状況分析、利用者アンケートの結果を踏まえて19年度の本格実施に反映します。 17年8月から本庁市民課戸籍住民窓口の取り扱い時間を午後6時15分まで延長しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

- 利用度調査の結果を踏まえた本運用を開始します。
- 本運用開始後のフォローアップに努めます。

親の心、子の心を大切にする教育により子どもたちの未来を確かなものとします。

2 子どもたちの生きる力を育てます。

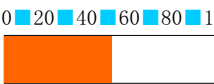
■ 親の意見を教育現場に反映する仕組みをつくりまします。

<ul style="list-style-type: none"> 自由にご意見をお寄せいただく場「教育長直行便」を設置し、保護者の皆さんと教育委員等との懇談の場として「移動教育委員会」を17年度から各地区で実施し、いただいた意見等を教育現場に反映しています。 18年9月には、保育や教育に関する“駆け込み寺”「教育なんでも相談」窓口を開設しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

- 18年度の状況を踏まえて、さらに充実を図ります。

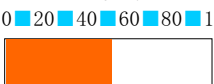
■ 幼児教育、小学校低学年教育を充実します。

① 読み書き計算の力をしっかり身につける。

<ul style="list-style-type: none"> 各学校で基礎学力の習熟の時間を設けて、音読や計算練習などに取り組んでいます。また、指定校(3小学校・2中学校)で、基礎基本の定着のための研究・発表を行い、その成果を他校へも広めています。 教職員の「職責に応じた研修」や「一人一課題」研修等を実施し、指導力の向上に努めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


- 前年度までの取り組みに改善を加え、さらに効果のある指導法を追究していきます。
- 学年懇談会等で「読み書き計算」を話題とし、保護者との情報の循環を図ります。

② 自然体験やふるさと教育の充実。

<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校の生活科や総合的な学習で、地域の自然や文化などにかかわる学習により、地域とのかかわりを深める学習を推進しています。 地域の人材を活用した学習の推進のため、「人材バンク」を立ち上げました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


- 幼稚園、保育園での栽培活動、小学校「生活科」での身近な自然体験、小中学校「総合的な学習の時間」での地域の自然や歴史・文化に関わる学習時間の増加、社会科・理科などの学習での地域の自然や歴史・文化を取り上げ、充実します。
- 人材バンク機能の有効活用と活用事例を広く紹介していきます。

■ 少人数学級を推進します。

<ul style="list-style-type: none"> 指導助手を17年度の28人から18年度には30人に増員し、小中学校に配置して少人数指導を進めています。 一人ひとりの学習状況を把握し、一斉学習の中では学習に遅れが見られる児童生徒に対し、学習状況に合わせた個別指導や学級内の少人数編制により指導を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 18年度の状況を踏まえ、引き続き推進します。 実践の成果と課題をもとに、より効果的な指導方法を追究していきます。

■ 子どもたちの地域スポーツ活動を盛んにします。

<ul style="list-style-type: none"> 阿木、付知の総合型地域スポーツクラブへの活動支援を行っています。 子どもたちが本物にふれる機会として、サッカー2006ワールドカップのパブリックビューイングを行いました。 17年度には中津川公園野球場建設に着手し、18年度は本体工事に入っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> 新たな総合型地域スポーツクラブの開設支援を行います。(蛭川・やさか[山口・坂下・川上]) 現役プロ選手プロOB等によるレベルの高い試合を観戦する機会や子ども向けのスポーツ教室を開催します。(サッカー・野球などを予定) パブリックビューイング事業を開催します。 学校開放未実施校の開放を行います。西小学校体育館の開放及び第二中学校・南小学校・東小学校の屋外運動場を開放します。
--

いきいきとしたふるさと中津川を創ります。

3 安心できる温かい福祉のまちをつくります。


■ 障害者の「育つ・学ぶ・働く」を大事にする行政をすすめます。

① 養護訓練センターを早期に整備。

<ul style="list-style-type: none"> 発達障害児の早期発見・早期療育と訓練の充実、障害児を持つ親の子育て支援を行う施設として、16年度に実施設計、17年度本体工事を行い、18年4月に発達支援センター「つくしんぼ」として開所しました。 併せて、発達障害の子どもさんができるだけ親元で訓練できるように、旧町村地域の発達支援センターは、統合することなく存続しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> 施設整備が完了したため、ソフト面については、公約「障害者教育の充実」に一本化します。 療育関係職員の技術支援と各療育機関の連携を深めるための「地域療育の充実」に努めます。
--

② 障害者教育の充実。

<ul style="list-style-type: none"> 小鳩・坂本保育園に障害児クラスの設置と各保育園、幼稚園で軽度発達障害・障害が疑われる児童の受け入れを行っています。 発達支援センター「つくしんぼ」を中心に、各地域で早期発見・早期療育・訓練ができる包括的な支援体制を構築しています。 特別支援教育アシスタント9名を配置し、小中学校における特別支援教育の充実に努めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 中津川保育園の移転新築により、発達支援センターとの連携をさらに強化します。 障害児保育を充実するため、医療専門員を配置します。
--


③ 障害者雇用の拡大と自立支援。

<ul style="list-style-type: none"> ハローワークと連携し、就職面接会場に障害者相談コーナーを設置しています。 障害者授産製品の販路の拡大のほか、手話奉仕員養成講座の開設などにより自立支援を推進しています。 障害者福祉計画を策定し、実態を把握し結果に基づく分析を行いました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 20年度以降のケアホーム建設のための協議を関係事業者と進めます。 福岡共同作業所(心身障害者小規模作業所)の改修を行い、作業環境と利便性の向上を図ります。 要約筆記者派遣事業、ガイドヘルパー派遣事業を実施します。
--


■ 子育て支援を充実します。

① ファミリーサポートの充実。

<ul style="list-style-type: none"> 制度の普及のため、広報紙でのPRや制度説明会、保育サポーターの養成も実施しています。 専門指導員によるアドバイスを受けるなど、各保育園、幼稚園において子育て相談事業を進めています。 合併後の次世代育成支援対策行動計画を策定し、各種の子育て支援事業を実施しています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> 中津川市次世代育成支援対策行動計画のフォローアップを行います。 18年度実施の利用者等を対象としたアンケート結果を基に、現行制度の検証と制度改善を進めます。

② 子どもと高齢者のふれあいの場を設置。

<ul style="list-style-type: none"> 坂本ふれあい施設(仮称)の建設へ向けて、地元と協議を進めています。 にぎわいプラザ内に、親子が気軽に集い、子育て等の相談ができる「世代間交流フロア」の整備を進めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

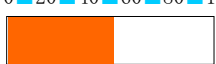
<ul style="list-style-type: none"> 坂本ふれあい施設の設計と建設を行います。 「世代間交流フロア」をオープンします。 集会所、クラブ等を活用した「ふれあいの場」の設置について、アンケート結果をもとにさらに検討を進めます。
--

■ デイサービス、ショートステイ等在宅介護サービスの支援をすすめます。

<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護支援センターを中津南(16年度)と中津西地区(18年度)に完成しました。 市直営で地域包括支援センターを設置しました。 在宅高齢者への支援として、緊急通報システムの設置、ショートステイ事業、ふれあい食事サービスの拡充等の事業を実施しています。 介護予防、認知症予防事業により、総合的な健康づくりに取り組んでいます。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービス拠点の整備をすすめます。 緊急通報システムを増設します。 介護予防講演会の開催、認知症サポーター養成講座の実施、地域における認知症ネットワークの体制づくりを進めます。 各地域の集会所・クラブ等の施設を活用した地域での介護予防教室を充実します。

■ 市民病院の高度医療の充実と病診連携による小児救急医療体制の充実を図ります。

<ul style="list-style-type: none"> 17年度に市民病院に最新鋭の放射線照射治療装置等を整備し、がん治療分野での高度医療化をすすめました。 小児救急医療体制整備には小児科医の確保が必要なため、全国的な小児科医不足の中、大学病院医局への要請等、小児科医確保を図っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 中津川市地域保健医療計画に基づいて中核病院として病診連携の充実を図ります。 研修医等の受け入れによる小児科医の育成に加え、病診連携を図れる体制づくりを進めます。


■ 安い料金で移動できる福祉バス等を導入します。

<ul style="list-style-type: none"> 17年度にコミュニティバス運行計画を策定し、全体的な方針を決定しました 18年度には、阿木地域、落合・神坂・山口地域、加子母・付知地域で試験運行を開始しました。 利用状況等の調査を行い、本運行に向けた検証を進めています 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 中津地域、坂本地域での試験運行開始を目指すとともに、全市的な統一性を検討していきます。


4 安全で便利な暮らしをつくります。

■ 地域の協力を得て、緊急車両の入る生活道路の整備をすすめます。

<ul style="list-style-type: none"> 道路補修材料支給による「住民参加型事業」の推進を図りました。 成果が出ている箇所のPR、要望箇所の募集を行うとともに、弾力的な運用が図れるよう必要に応じて重機借り上げを行い、地元の取組み意欲を高めていただくようにしました。 緊急3ヵ年道路整備事業として、17年度に19本、18年度に12本の生活道路で用地協力を受け、測量、設計、改良工事を実施しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域と行政で施工方法を打合せ、材料等の支給による地元施工を進めます。 緊急3箇年道路整備事業の最終年度として事業を進めます。
--

■ 光ファイバーによる情報通信ネットワークを早期に構築します。

<ul style="list-style-type: none"> 幹線となる光ファイバー網を市が整備、高速インターネット等のサービスは誘致事業者が運営する『公設民営方式』により、事業を進めています。 17年度に情報通信ネットワーク整備事業基本計画を策定、18年11月にはN TT西日本を事業者として選定、第1期整備エリアとして苗木並松地区、坂本南部地区で光ファイバー敷設を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 第1期整備エリアの利用効果を測定し、第2期エリアの整備に着手します。 平成20年度実施地区である第3期エリアの利用ニーズ測定及び詳細設計を行います。


■ 自主防災組織の強化と防災無線を見直します。

<ul style="list-style-type: none"> 18年度は、自主防災リーダーを15地区約500名養成するとともに、地区計画作成に合わせて災害時要援護者対策班を自主防災会内に設置するなどのサポート体制づくりを進めました。 また、市民安全情報ネットワークの機能充実を図り、加入者数約12,500人に防災情報等を配信しています。防災行政無線の見直しについては、研究・検討を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省や気象庁等の協力を得て、避難情報マニュアル整備に向けて研究を進めます。 引き続き、地域防災力強化事業、防災行政無線システム統合の検討を進めます。
--


■ 南北交通軸等を強化します。

① 城山大橋の早期無料化。

<ul style="list-style-type: none"> 17年5月に通行料金無料の社会実験、18年2月から3月に半額での調査を実施しました。無料で通常の約3.5倍、半額で約1.4倍の通行量があり、早期無料化の要望の高さが検証されました。 これに伴い、18年12月には岐阜県知事に早期無料化と合わせて、無料化の対策や手賀野・駒場地域のまちづくりのため、青木～斧戸線の県事業での早期事業化を要望しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、早期無料化が実現できるよう、県と協議を行います。

② 広域農道青木ヶ原線等道路整備。

<ul style="list-style-type: none"> 国道19号坂本地区深沢交差点西から坂本北部を結ぶ路線で、土地収用法の適用も辞さずとの決意で用地買収に取り組みました。 地権者のご理解をいただき、事業採択から20年以上の歳月を経て、平成17年12月に開通しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 17年度の開通により事業は完了しました。
--


■ 道路の凍結防止のため、日陰になりやすい場所の樹木を落葉樹に変えていきます。

<ul style="list-style-type: none"> 17年度には13カ所で、18年度には4カ所で、地元協力により、日陰になりやすい場所の木の伐採を実施しました。 また、樹木の伐採や落葉樹に変えていくだけでは解消できないケースに対応できる安価な凍結防止方法の研究を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---



<ul style="list-style-type: none"> 高木の伐採等専門技術が必要となるケースに対する経費の一部負担を盛り込んだ予算措置を行います。
--

■ 身の回りの危険の除去・安心安全まちづくり。


<ul style="list-style-type: none"> 市民が安全で安心して暮らせる取り組みとして、空き家・空き店舗の把握、安全安心まちづくり宣言・条例・基本計画及び実施計画の策定、通学路及びたまり場の防犯灯設置などを実施しました。 18年8月から市の公用車19台に青色回転灯を搭載し、パトロールを開始しました。 また、身の回りの危険の除去については、区長さんからの報告に基づいて現地を確認し、緊急性の高いものから優先順位をつけて関係部署と連携して対応しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---



<ul style="list-style-type: none"> 安全安心まちづくり計画に基づく、市民の意向調査において要望が多くAED(自動体外式除細動器)の設置については、市内未設置地域を優先して全体計画に基づいて設置します。 安全安心まちづくり計画の4つの基本的考えに基づき、各施策の推進に市民の意向を反映しながら優先順位の高い事業を推進します。
--

5 産業を活発にし、働く場を充実します。

■ 産業と大学との交流の場づくりなどにより新しい産業の芽を育てます。


<ul style="list-style-type: none"> 大学とのネットワーク、産学連携の協力体制づくりを行っています。18年4月に商工会議所とともに中小企業支援センターを設置し、相談窓口としています。 企業と大学の交流の場づくりとして産学連携意識の喚起に繋がる講演会の開催、企業ニーズと大学シーズとのマッチングの機会づくりの提供を行いました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---



<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、大学シーズ展や講演会などPRの場を作っていきます。
--


■ 合併のメリットを活かして農業・林業のブランドを育て、「創る・売る産業おこし」を支援します。

① 安全な食糧づくりの支援。

<ul style="list-style-type: none"> 18年度から健康ミネラルトマト栽培に助成するとともに、名古屋都市圏等の量販店でのトマト、ナスの消費宣伝や農産物直売組合、生産グループ、加工グループによる都市部での農産即売等イベントなど、販売促進活動を実施しています。 間伐材を利用した牛舎の建設、家畜排せつ物処理施設の整備を行いました。 家畜用の超音波診断装置・血液検査機器などの最新機器の導入等により衛生及び防疫対策を実施しました。 優良資質を持った雌牛の保留導入や各種イベントでの地元畜産物のPR活動を実施しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


<ul style="list-style-type: none"> にぎわい広場で「おはよう朝市」を定期的で開催します。 イベント用ののぼり旗、チラシを作成し、トマト・ナスの消費PRを行います。 企業の退職予定者向けの就農PR紙を作成します。 遊休農地を栗園として整備し、栗の生産拡大を図ります。 「飛騨牛」「ラム肉」等地元産畜産物の市内宿泊施設、料理店等での消費活用を進めます。 堆肥の利用促進と自給飼料の増産、稲ワラ等の確保を行います。 新規就農者への支援を行います。
--

② 東濃檜の産直住宅の推進。

<ul style="list-style-type: none"> 18年度には、加子母、付知、福岡、坂下、中津川の市内5産直住宅組合に参画をいただき「中津川市産直住宅振興会」を設立しました。 地元産材の利用促進のため、林業・製材業・設計事務所・工務店の連携を高める「サプライチェーン会議」を設置し、産直住宅の建設棟数の増加に取り組んでいます。 名古屋城本丸御殿復元支援事業に合わせて名古屋市で行われたイベントや見学会の開催等により産直住宅のPRを行いました。 その他、大黒柱の贈呈、5日間若者に大工作業を体験していただく「匠の国・岐阜県伝統建築セミナー開催事業」に対する補助を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


<ul style="list-style-type: none"> 名古屋圏をターゲットとしたPR活動を強化し、産直住宅のブランド力のさらなる向上と販路拡大を図ります。 「産直住宅振興会」と「サプライチェーン会議」を活性化します。
--

■ 中心市街地活性化のため公共複合施設等をつくり、にぎわいを呼び戻します。

<ul style="list-style-type: none"> 17年度には、中津川駅前のにぎわいプラザにおいて、先送り課題として残っていた4店舗の区分所有権の買収を行いました。 18年度には、公共複合施設としての活用法を決定して国の「まちづくり交付金」を活用し、改修工事を行い5月末には完成の予定です。 まちのにぎわい創出のため、「産業振興部商工観光局」「教育委員会」など行政機関をにぎわいプラザに移転します。また、中心市街地活性化計画の策定作業を進めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 6月をめどに、にぎわいプラザ改修後の運営を本格的にスタートします。 にぎわいプラザ利用者用の駐車場の確保を進めます。 にぎわいプラザ改修後の状況変化への対応を考慮しながら、駅前広場の再整備計画の検討を行います。


■ 広域の観光資源を結びつけ、観光客を誘致します。

<ul style="list-style-type: none"> 木曾、下呂、下伊那まで含めた広域観光マップを作成し、名古屋都市圏や各種イベント時などに配布しています。 飛騨、木曾の観光協会と連携して県外での観光キャンペーンを実施しています。 東京汐留シオサイトで開催の「夢フェスタ2005」、東京日比谷公園で開催の「夢フェスタ2006」に参加し、中津川市の観光をPRしました。 「中津川ふるさとじまん祭・中山道中津川菓子まつり」、「食彩祭り・秋の中山道祭り」、「ふるさと馬籠ごへー祭り」などで、市外からの来場者に対し「観光都市中津川」をアピールしました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

↓

- 観光資源の新たな組み合わせによる観光ルートの開発とメニュー化を行います。
- 19年10月から3ヶ月間行なわれる岐阜県全域参加によるDCキャンペーンを活用し、中津川市の広域観光をPRします。

■ 勤労者総合支援センター（能力開発、適職診断、資格取得等）を開設します。

<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県労働者福祉協議会中恵支部の協力を得て、サンライフ内に17年4月にスピード開設できました。相談事業、講習会等を実施し、17年度延べ利用者数640人、相談者は206人です。 18年度は「2007年プロジェクト」に対応した技術者の人材バンク「モノづくり人材紹介事業」のスタートの準備に着手しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---


↓

- 勤労者総合支援センターの開設自体は、17年度で完結しました。今後はソフト面の充実に努めます。
- 「2007年プロジェクト」への対応策として「モノづくり人材紹介事業」を開設します。

豊かな自然と独自の歴史・文化が光るふるさと中津川を創ります。

6 豊かな自然ときれいな中津川をつくります。


■ ごみの減量化のため、各家庭で生ごみを堆肥化し、その回収する仕組みをつくります。

<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化回収システムの確立に向けて、市内2地区約100世帯でモデル事業を実施しました。生成した堆肥の成分分析や野菜の試験栽培を行い、農業に使用できるかの検証を行っています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

↓


- 参加世帯等に対するアンケート調査の実施、結果分析・費用対効果等により、事業の方向性をまとめ、20年度以降に向けた総括を行います。
- 庁内リサイクル検討会議を開催しごみのリサイクル計画を策定します。
- ごみの減量に直結する廃プラスチックや古紙リサイクルの推進に力を入れ、総合的なごみの減量に取り組んでいきます。

■ 下水道整備のスピードをあげます。

<ul style="list-style-type: none"> 補正予算を組み、公共下水道事業中津川処理区の駒場・手賀野(中津西)地区、特定環境保全公共下水道事業苗木処理区の八幡・井汲地区の整備を前倒してきました。 苗木処理区では、早期水洗化に対応できるよう処理場の増設工事に着手しました。 農業集落排水資源循環総合補助事業阿木地区では、平成19年秋の早期供用開始を目指し処理場建設に着手しました。 坂本地区については、19年度着手に向け地元協議を重ねてきました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業中津川処理区については、管渠工事及び供用開始以来18年が経過した中津川市浄化管理センターで、より良い水質を確保するための改築更新工事を行います。また、下水道地震対策緊急整備事業として20年度以降5ヶ年以内の整備を目指し、緊急整備計画を策定します。 公共下水道事業坂本処理区については、処理場の用地買収及び設計、管渠埋設測量設計を行います。 特定環境保全公共下水道事業苗木処理区については、苗木浄化管理センター水処理施設の 1/2 系列の増設工事を行います。 農業集落排水資源循環総合補助事業阿木地区については、平成19年夏の処理場供用開始に向けた場内整備、管渠整備を行います。 合併処理浄化槽設置整備事業については、引き続き下水道等集合処理区域外での合併処理浄化槽設置への補助を行います。

■ 自然共生型の河川整備を行い、癒しと憩いの場をつくります。

<ul style="list-style-type: none"> 恵下沢川上流部で河川敷に湛水部を設け、階段を設置し、水に親しむことができる河川改修工事を実施しています。 落合川で地元・県・市の協働による環境整備を実施しています。 河川改修においては、多自然型ブロックの導入など可能な限り自然にやさしい工法を採用し、自然共生型の河川整備を進めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---

<ul style="list-style-type: none"> 津戸井川(中津川公園付近)の改修整備を行います。整備にあたっては、多自然型護岸工による護岸整備、帯工による河床低下抑制、階段工により親水性確保を図ります。


■ 美しいまちづくりのために景観条例を制定します。

<ul style="list-style-type: none"> 16年度から17年度にかけて景観に関する市民アンケートを実施し、17年度には、有識者公聴会や現地視察を実施しました。 景観計画策定委員会を設置し、18年度末を目標に景観基本計画、景観計画を策定しています。 中山道を中心に据えた重点地区(馬籠・落合・本町)での建物等の調査、懇話会、全市を対象にしたパブリックコメントの実施など住民意見をお聞きしながら計画策定を進めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 景観計画の告示を行い、景観条例を制定します。制度の運用と普及広報活動を進めます。 景観計画重点地区である馬籠、落合地区を対象に、地域内の住民が行う修景整備に対し補助を行います。 景観計画重点地区である本町地区の景観整備計画を策定します。
--


7 キラリと光る歴史・文化の中津川をつくります。

■ 地歌舞伎と恵那文楽等地域芸能文化活動を支援します。

<ul style="list-style-type: none"> 16年度に、補正予算で中津南地区旧川上分校体育館を文楽の里「楽生館」として再整備しました。さらに、18年度、分校本体に歌舞伎衣装庫を整備しました。 蛭川の蛭子座改修については、17年度には基本設計を、18年度には実施設計を完了しました。 17年度には「国立劇場民俗芸能公演事業(地歌舞伎・恵那文楽)」、18年度には「明治座大歌舞伎公演(中村勘三郎)開催事業」等への支援を行いました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---


<ul style="list-style-type: none"> 蛭子座の本体工事に着手します。(20年度末完成予定) 「岐阜県文楽・能大会」などの伝統芸能公演事業への支援を行います。 引き続き、後継者育成のための各種伝承教室の開催支援を行います。

■ 歴史的・文化的に価値ある建物・資料の保存に努めます。

<ul style="list-style-type: none"> 合併直後に長野県の指定文化財であった島崎藤村宅跡隠居所の改修を実施し、整備の効果は文化遺産の保護保存に留まらず、新市の一体感醸成、観光面で大きいものがありました。 中山道中津川宿沿線の曾我家の建物を市の指定文化財に指定し、庭を整備して定期的に公開しています。 本町・脇本陣森家の活用計画や、落合・本陣井口家の保存活用の協議等に着手しています。 神坂の風穴について17年度から事業に着手し、18年度は石積整備を行いました。 苗木城跡については、17年度に天守の柱・梁を復元し、18年度には天守への木製階段や本丸口門跡までの道を整備しました。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	--


<ul style="list-style-type: none"> 中山道、飛騨街道の案内看板の整備を行います。 馬籠峠地区の建物調査、中津川宿脇本陣森家の整備を行います。 案内板、説明板の設置などの神坂風穴の周辺整備について、市民力で行うことを検討します。 国指定天然記念物である加子母のスギ、垂洞のシダレモミを保護するための環境整備を行います。

■ 自然と歴史・文化を体感できるウォーキングの道づくりを行います。

<ul style="list-style-type: none"> 17年度に中山道馬籠に続く石畳遊歩道(落合・新茶屋)を整備しました。 都市再生整備計画に中山道整備を盛り込んで、国の「まちづくり交付金」を活用し、18年度には、馬籠・落合の両地区の中山道において、街道の雰囲気を持つ特殊舗装の施工を実施しました。 市内各地区別のコースを紹介するウォーキングルートマップを作成しました。 市民力を活用した道づくりを推進するため、「ウォーキングの道づくり市民会議」(仮称)の結成を進めています。 	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
--	---

<ul style="list-style-type: none"> 落合・馬籠の中山道特殊舗装、落合新茶屋トイレ新築、馬籠の観光センター測量設計など、中山道整備事業(まちづくり交付金事業)を進めます。 年度当初に「ウォーキングの道づくり市民会議」(仮称)を設立し、この組織を中心にして新ルート開発や既設ルートの管理・整備を市民力で進めます。

■ 山の文化保存の調査・研究を行います。

<ul style="list-style-type: none">17年度には山の仕事や道具、山菜などに関する調査を行い、18年度には昔を知る人への聞き取り調査、「尾張藩の林業」の小冊子を作成しました。尾張藩の山守等の古文書の解読を継続して実施し、山の文化の歴史的側面をまとめています。	<p>進捗率 (%)</p> <p>0 ■ 20 ■ 40 ■ 60 ■ 80 ■ 100</p> 
---	---



<ul style="list-style-type: none">尾張藩の山守・内木家等にある古文書の解読を継続して実施します。山の文化に関する資料の写真集を作成します。

資料編

1 会計別予算規模一覧表

(単位:千円, %)

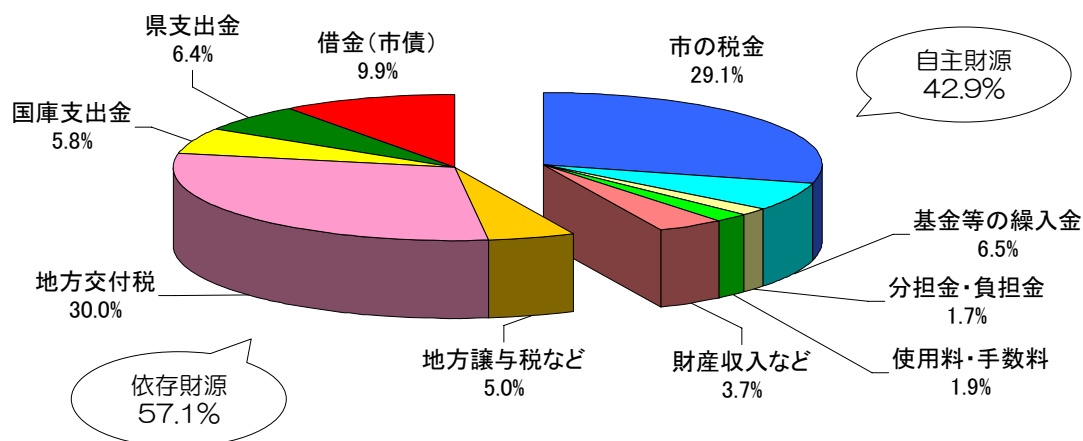
会計区分	平成19年度		平成18年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	35,699,000	46.2	34,500,000	45.7	1,199,000	3.5
特別会計	27,627,082	35.8	27,278,061	36.2	349,021	1.3
国民健康保険事業会計	8,044,982	10.4	7,065,751	9.4	979,231	13.9
事業勘定	7,790,565	10.1	6,793,490	9.0	997,075	14.7
直営診療施設勘定	254,417	0.3	272,261	0.4	△17,844	△6.6
交通災害共済事業会計	23,710	0.0	24,452	0.0	△742	△3.0
駅前駐車場事業会計	14,767	0.0	15,937	0.0	△1,170	△7.3
下水道事業会計	2,528,923	3.3	2,406,191	3.2	122,732	5.1
老人保健事業会計	8,115,017	10.5	8,415,719	11.2	△300,702	△3.6
簡易水道事業会計	754,859	1.0	750,579	1.0	4,280	0.6
農業集落排水事業会計	894,332	1.2	1,578,239	2.1	△683,907	△43.3
特定環境保全 公共下水道事業会計	1,994,361	2.6	1,940,005	2.6	54,356	2.8
介護保険事業会計	5,245,388	6.8	5,056,375	6.7	189,013	3.7
個別排水処理事業会計	10,743	0.0	24,813	0.0	△14,070	△56.7
企業会計	13,888,561	18.0	13,687,332	18.1	201,229	1.5
水道事業会計	1,761,497	2.3	1,719,610	2.3	41,887	2.4
病院事業会計	12,127,064	15.7	11,967,722	15.9	159,342	1.3
計	77,214,643	100.0	75,465,393	100.0	1,749,250	2.3

2 一般会計総括表（歳入）

(単位:千円, %)

款	平成19年度		平成18年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	10,405,600	29.1	9,330,000	27.0	1,075,600	11.5
2 地 方 譲 与 税	462,000	1.3	1,120,000	3.3	△658,000	△58.8
3 利 子 割 交 付 金	23,000	0.1	22,741	0.1	259	1.1
4 配 当 割 交 付 金	24,000	0.1	9,958	0.0	14,042	141.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	40,000	0.1	12,016	0.0	27,984	232.9
6 地 方 消 費 税 交 付 金	770,000	2.2	760,000	2.2	10,000	1.3
7 ゴルフ場利用税交付金	41,000	0.1	41,000	0.1	0	0.0
8 自動車取得税交付金	317,000	0.9	285,000	0.8	32,000	11.2
9 地方特例交付金	86,000	0.2	204,000	0.6	△118,000	△57.8
10 地 方 交 付 税	10,700,000	30.0	11,410,000	33.1	△710,000	△6.2
11 交通安全対策特別交付金	17,002	0.0	16,238	0.0	764	4.7
12 分担金及び負担金	595,110	1.7	662,690	1.9	△67,580	△10.2
13 使用料及び手数料	675,893	1.9	684,235	2.0	△8,342	△1.2
14 国 庫 支 出 金	2,080,718	5.8	1,863,584	5.4	217,134	11.7
15 県 支 出 金	2,272,038	6.4	1,947,152	5.7	324,886	16.7
16 財 産 収 入	130,838	0.4	103,154	0.3	27,684	26.8
17 寄 附 金	5,500	0.0	5,010	0.0	490	9.8
18 繰 入 金	2,336,374	6.5	1,439,317	4.2	897,057	62.3
19 繰 越 金	300,000	0.8	300,000	0.9	0	0.0
20 諸 収 入	891,527	2.5	923,205	2.7	△31,678	△3.4
21 市 債	3,525,400	9.9	3,360,700	9.7	164,700	4.9
	(2,111,000)	(5.9)	(1,733,500)	(5.0)	(377,500)	(21.8)
歳 入 合 計	35,699,000	100.0	34,500,000	100.0	1,199,000	3.5

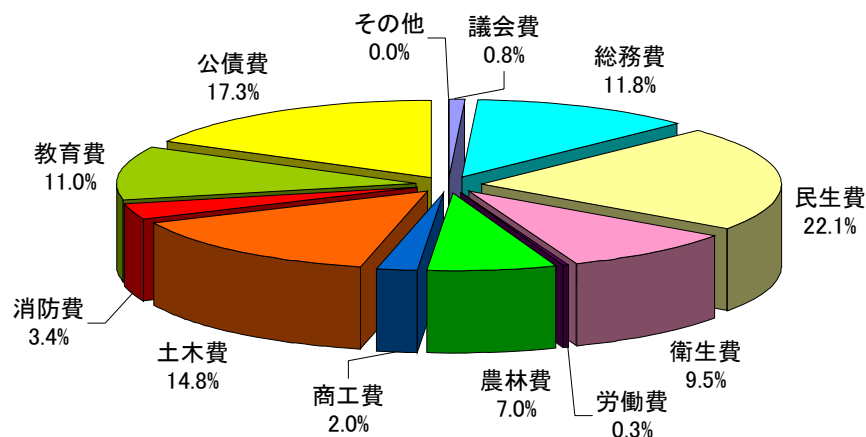
※市債欄の()書きは、合併特例債、過疎対策事業債、辺地対策事業債の合計額で、償還時に地方交付税による財源補てんがあるもの。



3 一般会計総括表（目的別歳出）

(単位:千円, %)

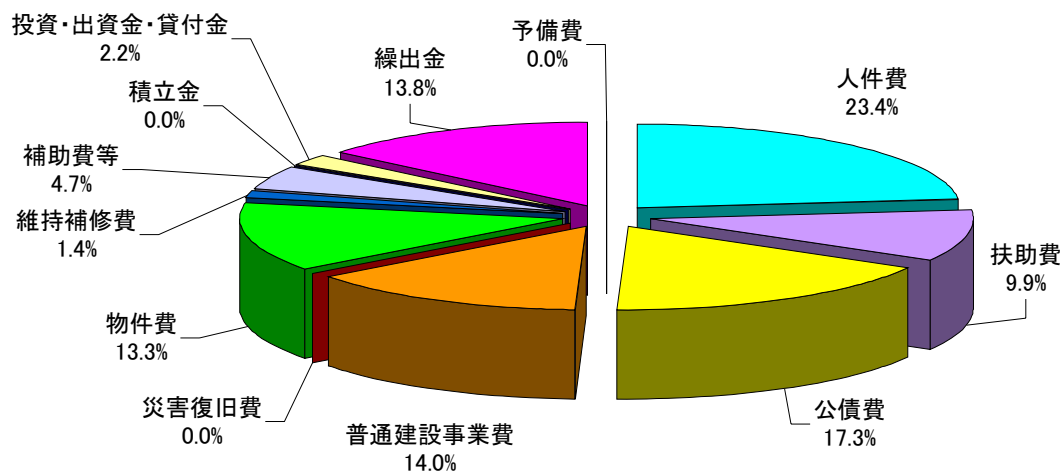
款	平成19年度		平成18年度		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
1 議会費	299,094	0.8	328,454	1.0	△29,360	△8.9
2 総務費	4,214,383	11.8	3,349,140	9.7	865,243	25.8
3 民生費	7,906,939	22.1	7,460,163	21.6	446,776	6.0
4 衛生費	3,395,931	9.5	3,698,530	10.7	△302,599	△8.2
5 労働費	87,563	0.3	109,164	0.3	△21,601	△19.8
6 農林費	2,484,631	7.0	2,562,192	7.4	△77,561	△3.0
7 商工費	706,179	2.0	1,153,761	3.3	△447,582	△38.8
8 土木費	5,278,805	14.8	5,214,073	15.1	64,732	1.2
9 消防費	1,210,747	3.4	1,218,374	3.5	△7,627	△0.6
10 教育費	3,917,981	11.0	3,734,298	10.8	183,683	4.9
11 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12 公債費	6,191,747	17.3	5,666,850	16.4	524,897	9.3
13 諸支出金	0	0.0	1	0.0	△1	△100.0
14 予備費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
歳出合計	35,699,000	100.0	34,500,000	100.0	1,199,000	3.5



4 一般会計歳出予算の状況（性質別）

(単位:千円, %)

区 分		平成19年度		平成18年度		比 較	
		予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	人 件 費	8,355,259	23.4	7,909,731	22.9	445,528	5.6
	扶 助 費	3,517,626	9.9	3,435,855	10.0	81,771	2.4
	公 債 費	6,191,747	17.3	5,666,760	16.4	524,987	9.3
	小 計	18,064,632	50.6	17,012,346	49.3	1,052,286	6.2
投資的経費	普通建設事業費	5,005,452	14.0	4,723,328	13.7	282,124	6.0
	補助	2,213,118	6.2	1,458,884	4.2	754,234	51.7
	単 独	2,792,334	7.8	3,264,444	9.5	△472,110	△14.5
	小 計	5,005,452	14.0	4,723,328	13.7	282,124	6.0
その他	災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	物 件 費	4,750,781	13.3	4,766,521	13.8	△15,740	△0.3
	維 持 補 修 費	503,103	1.4	508,487	1.5	△5,384	△1.1
	補 助 費 等	1,661,801	4.7	1,762,370	5.1	△100,569	△5.7
	積 立 金	2,325	0.0	15,651	0.1	△13,326	△85.1
	投資及び出資金	788,773	2.2	806,515	2.3	△17,742	△2.2
	繰 出 金	4,917,133	13.8	4,899,782	14.2	17,351	0.4
	予 備 費	5,000	0.0	5,000	0.0	0	0.0
小 計	12,628,916	35.4	12,764,326	37.0	△135,410	△1.1	
歳 出 合 計		35,699,000	100.0	34,500,000	100.0	1,199,000	3.5



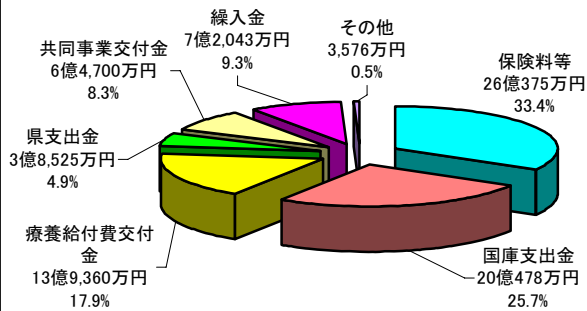
5 グラフで見る特別会計

国民健康保険事業会計(事業勘定)

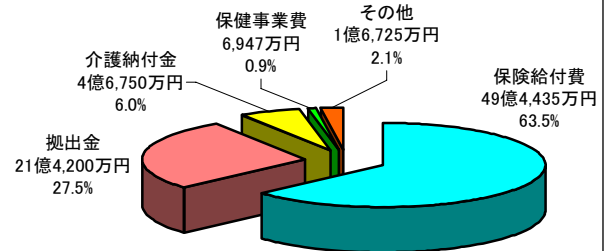
総額 77億9,057万円

健康で元気に暮らすことは、みんなの願いです。しかし、いつ病気やケガをするかわかりません。そんな時、安心して医療を受けられるように、加入者の皆さんが納めた保険料と国や県が負担する補助金を使って助け合う制度が、国民健康保険です。国民健康保険事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。

歳入



歳出

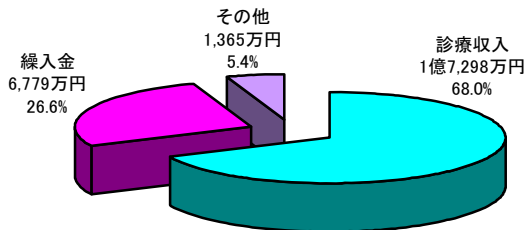


国民健康保険事業会計(直営診療施設勘定)

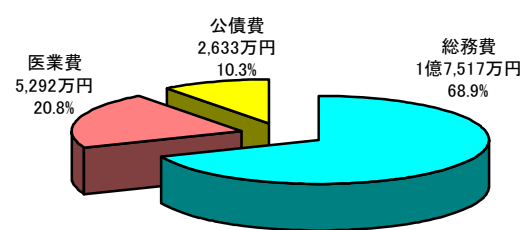
総額 2億5,442万円

病気や怪我のとき、遠くの医療機関まで足を運ばなくても近くのお医者さんで診察、治療が受けられるように特に民間の医療機関が無い地域に市が診療施設を設置しています。川上診療所、加子母歯科診療所、蛭川診療所の3つの診療所を一般会計とは別の特別会計で運営しています。

歳入



歳出

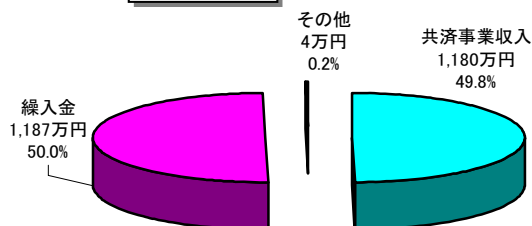


交通災害共済事業会計

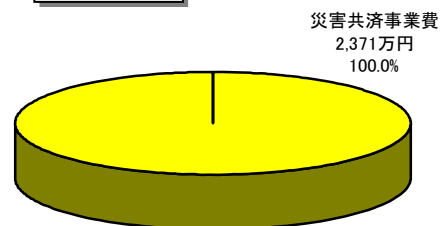
総額 2,371万円

毎日どこかで交通事故は起きています。交通事故にあえば、その被害者や加害者、そしてそれぞれのご家族の方にも大きな負担となります。交通事故は、市民のみなさん一人ひとりが注意していただくことが大切です。交通災害共済事業は、市民一人ひとりがわずかな掛金を出し合い、万一事故にあったときに助け合う、市民のための相互扶助事業です。交通災害共済事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。

歳入



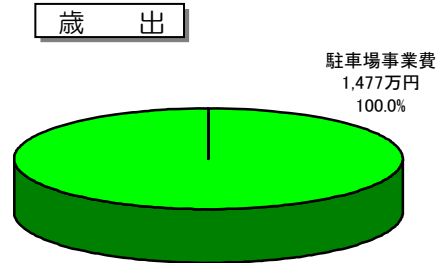
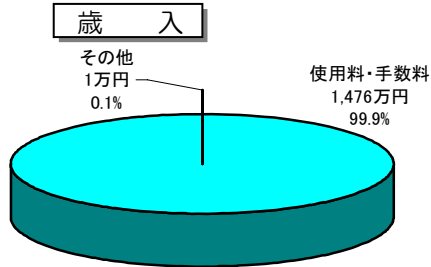
歳出



駅前駐車場事業会計

総額 1,477万円

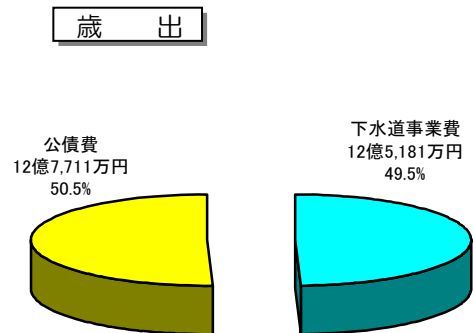
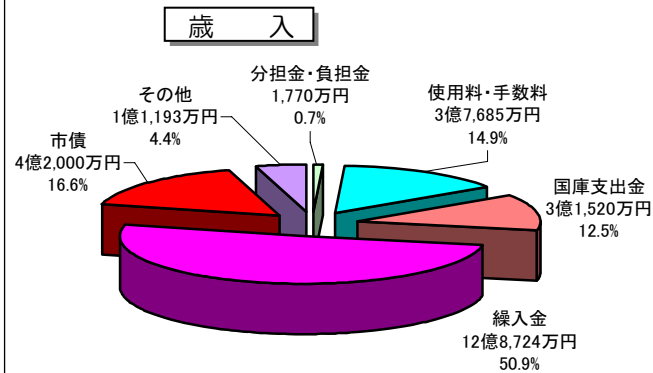
中津川駅周辺の駐車場不足の解消のために市が設置した駐車場を一般会計とは別の特別会計で運営しています。



下水道事業会計

総額 25億2,892万円

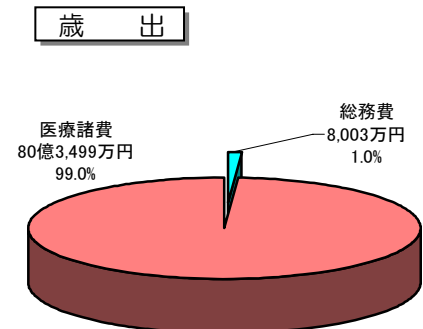
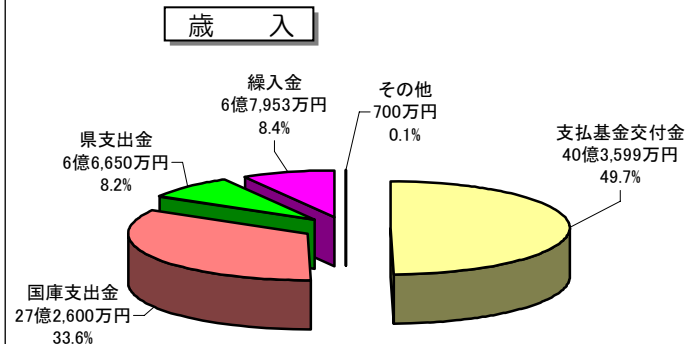
市街地における生活環境の改善と併せて地域の水質保全を図ることを目的として下水道を整備しています。下水道事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



老人保健事業会計

総額 81億1,502万円

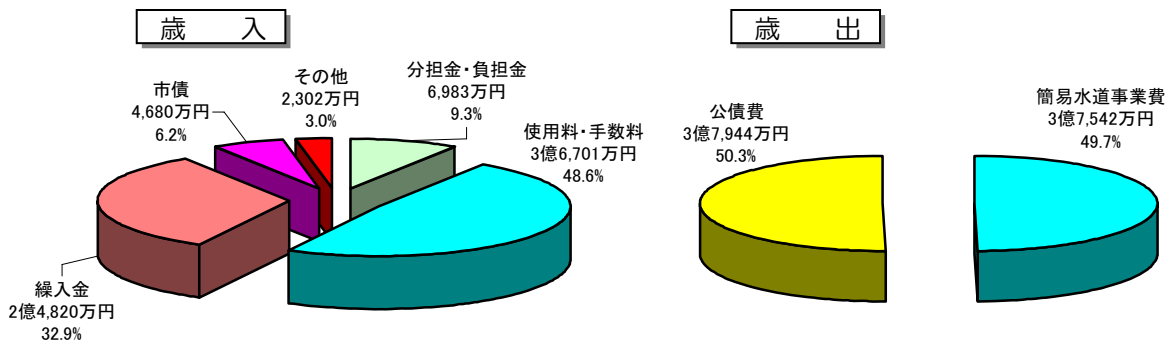
老人保健制度は、高齢者の方の医療費の自己負担を一般の方より軽くして、安心して医療を受けられるようにするための制度です。老人保健は75歳以上の人(平成14年9月30日までに70歳になった人や65歳以上で所定の障害認定を受けた人も対象)が対象になります。老人保健事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



簡易水道事業会計

総額 7億5,486万円

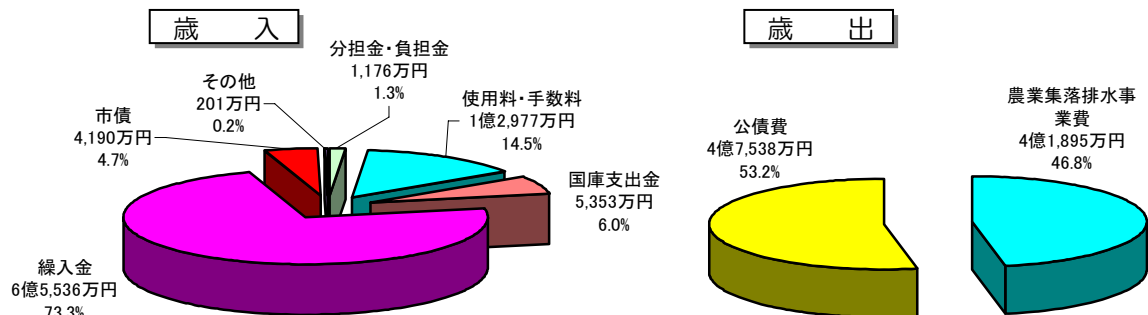
水道は、私たちの毎日の暮らしやさまざまな活動を支える大切な役割を果たしています。市では、市民の皆さんに清浄で豊富低廉な水道水を供給するため、関連施設の適正な維持管理を行っています。市の水道事業は、中津川市水道事業と中津川市簡易水道事業があり、一般会計とは別に、水道事業は企業会計、簡易水道事業は特別会計で経営しています。



農業集落排水事業会計

総額 8億9,433万円

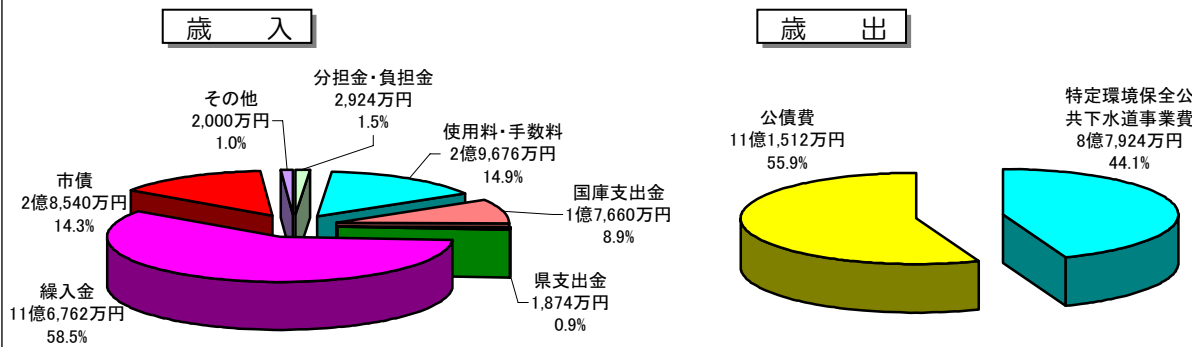
農業集落排水事業は、農業用排水の水質保全や農村の生活環境の改善と併せて、地域の水質保全を図ることを目的としています。農業集落排水事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。



特定環境保全公共下水道事業会計

総額 19億9,436万円

市街地における生活環境の改善と併せて地域の水質保全を図ることを目的として、下水道を整備しています。下水道事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。

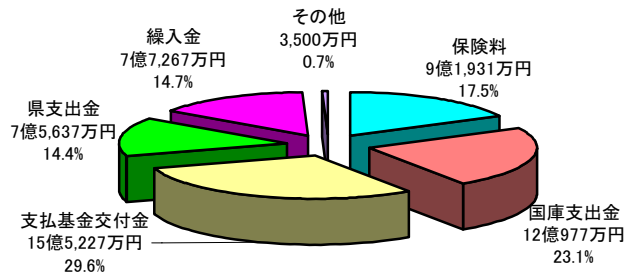


介護保険事業会計

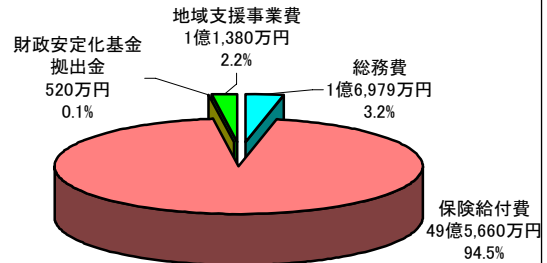
総額 52億4,539万円

介護保険は、40歳以上の保険加入者が納める保険料と、国や都道府県、市町村が負担する公費(税金)を財源として、介護が必要となった被保険者に介護サービスを提供することや、予防が必要な人に介護状態にならないための介護予防事業を行い、被保険者と家族を支援する制度です。介護保険事業は一般会計とは別の特別会計で運営しています。

歳入



歳出

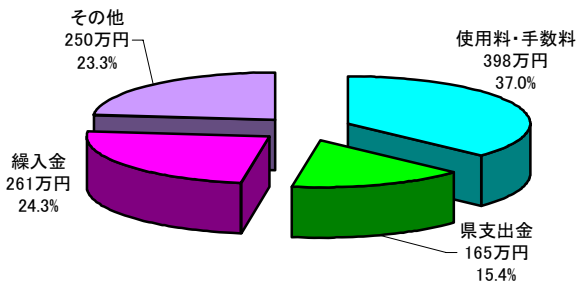


個別排水処理事業会計

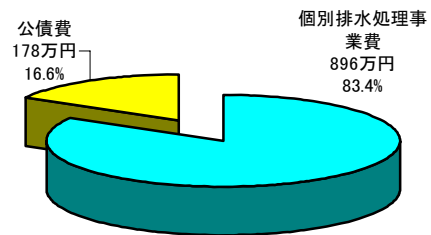
総額 1,074万円

農業集落排水事業の整備時に、効率の悪い地域を一体的に水洗化するため、市が合併処理浄化槽を設置し、使用料を徴収して管理する事業です。個別排水処理事業会計は一般会計とは別の特別会計で運営しています。

歳入



歳出

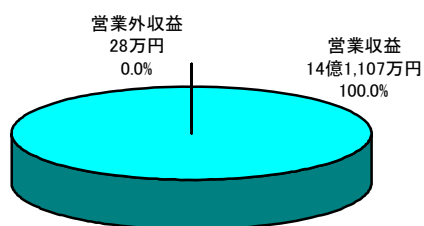


水道事業会計(収益的収支のみ)

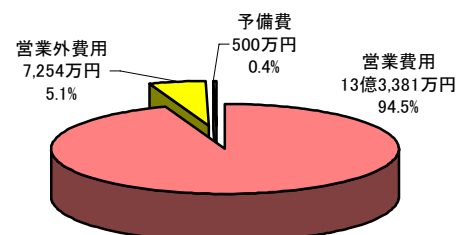
総額 14億1,135万円
(資本的支出を加えた予算総額 17億6,150万円)

水道は、私たちの毎日の暮らしやさまざまな活動を支える大切な役割を果たしています。市では、市民の皆さんに清浄で豊富低廉な水道水を供給するため、関連施設の適正な維持管理を行っています。市の水道事業は、中津川市水道事業と中津川市簡易水道事業があり、一般会計とは別に、水道事業は企業会計、簡易水道事業は特別会計で運営しています。

歳入



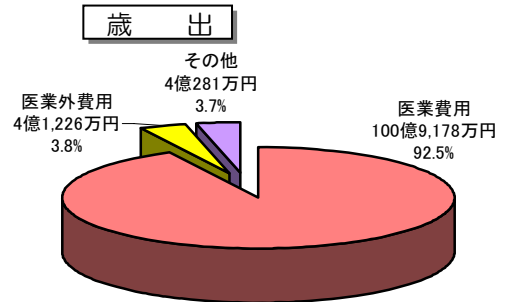
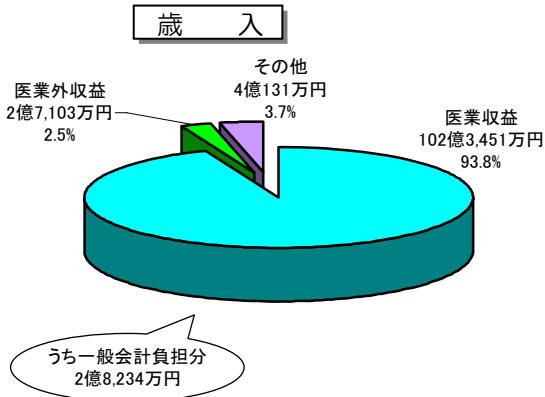
歳出



病院事業会計（収益的収支のみ）

総額 109億685万円
 （資本的支出を加えた予算総額 121億2,706万円）

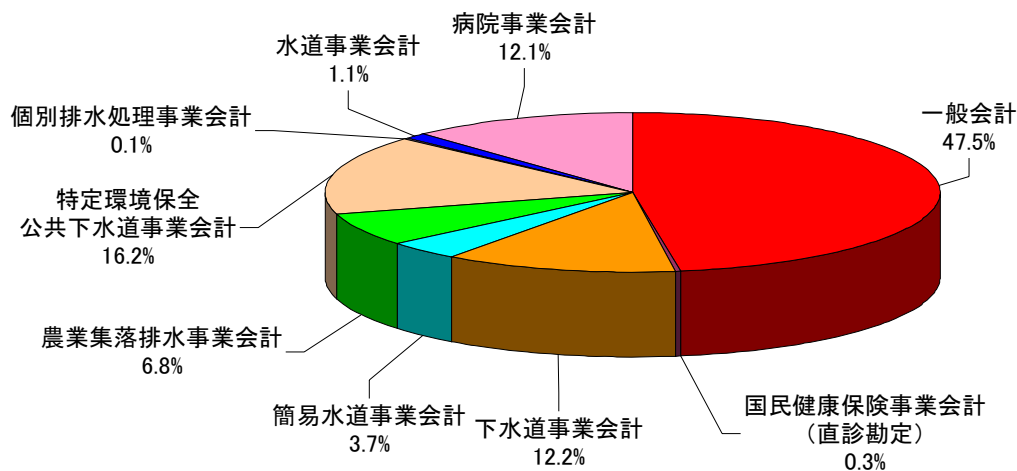
都市と同レベルの医療を市内で受けられるように市が設置している病院で、市民病院と坂下病院の2つの病院を一般会計とは別の企業会計で運営しています。



6 起債残高

(単位:千円, %)

会計区分	平成19年度末見込残高		平成18年度末見込残高		比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	48,990,585	47.5	50,753,153	47.7	△1,762,568	△3.5
特別会計	40,482,580	39.3	41,825,601	39.3	△1,343,021	△3.2
国民健康保険事業会計 (直営診療施設勘定)	251,449	0.3	272,560	0.3	△21,111	△7.7
下水道事業会計	12,598,506	12.2	13,007,241	12.2	△408,735	△3.1
簡易水道事業会計	3,856,368	3.7	4,055,267	3.8	△198,899	△4.9
農業集落排水事業会計	7,012,347	6.8	7,271,788	6.8	△259,441	△3.6
特定環境保全 公共下水道事業会計	16,691,842	16.2	17,146,286	16.1	△454,444	△2.7
個別排水処理事業会計	72,068	0.1	72,459	0.1	△391	△0.5
企業会計	13,577,963	13.2	13,865,708	13.0	△287,745	△2.1
水道事業会計	1,126,031	1.1	1,220,162	1.1	△94,131	△7.7
病院事業会計	12,451,932	12.1	12,645,546	11.9	△193,614	△1.5
計	103,051,128	100.0	106,444,462	100.0	△3,393,334	△3.2



7 各種施設の維持管理経費の状況

市の主な施設の維持管理に要する経費を平成19年度予算額でみると、次のようになっています。市では経費の節減に努めるとともに指定管理者の導入を検討していきます。

(単位:千円)

施設名	施設管理費	内 訳				使用料等収入
		管理委託費	光熱燃料費	修繕費	その他	
庁舎(本庁、健福、コミセン、総合事務所)	186,295	78,409	59,503	12,115	36,268	0
川上CATV施設	13,375	9,684	1,570	513	1,608	4,692
情報通信ネットワーク(光ファイバ)	19,255	10,357	0	0	8,898	7,080
火葬場(中津、坂下、加子母、付知、蛭川)	39,041	25,092	6,423	6,789	737	7,474
墓地	1,559	383	62	700	414	250
老人福祉センター	23,266	12,111	9,753	250	1,152	2,370
地域福祉センター	73,350	30,145	36,120	400	6,685	22,937
ごみ処理施設	509,196	221,199	95,435	83,001	109,561	62,788
し尿処理施設	303,183	154,778	53,128	34,988	60,289	159,337
農業施設	5,751	2,779	2,722	137	113	625
林業施設	11,050	8,106	387	100	2,457	3,054
道の駅「賤母」	477	0	0	477	0	3,000
道の駅「きりら坂下」	10,350	3,500	0	0	6,850	2,850
道の駅「花街道つちち」	0	0	0	0	0	0
道の駅「かしも」	3,257	3,257	0	0	0	0
道の駅「五木のやかた」	3,627	3,627	0	0	0	0
にぎわいプラザ	40,448	22,000	10,230	500	7,718	5,500
観光施設	2,134	1,060	963	50	61	676
公園	91,224	76,774	1,221	12,000	1,229	67
市営住宅(808戸)	63,721	1,624	792	19,266	42,039	172,122
消防施設(庁舎、消防団詰所)	65,573	21,778	17,241	7,027	19,527	824
小学校(19校、給食調理場含む)	246,167	18,849	93,625	46,050	87,643	0
中学校(12校、給食調理場含む)	172,316	8,389	54,878	31,988	77,061	0
小中学校給食施設(センター方式分)	22,608	2,090	15,352	1,625	3,541	15,312
保育園(17園)	82,504	4,465	35,878	4,712	37,449	328,188
幼稚園(6園)	11,950	566	4,425	2,760	4,199	23,193
阿木高等学校	7,774	929	3,787	2,142	916	10,206
公民館(13箇所)	61,864	14,799	28,760	5,655	12,650	5,890
図書館(8箇所)	30,696	1,778	3,562	150	25,206	70
文化センター	176,904	109,045	46,719	7,059	14,081	14,597
博物館等	91,439	58,513	15,142	2,160	15,624	10,149
芝居小屋(明治座、常盤座)	2,873	1,727	964	100	82	20
体育施設(運動公園、グラウンド、体育館等)	134,916	82,912	26,017	14,053	11,934	26,315
駅前駐車場	14,767	13,717	0	0	1,050	14,756
経費合計	2,522,910	1,004,442	624,659	296,767	597,042	904,342

- 上記の金額には職員人件費は含まれていません。
- 上記の金額には施設建設にかかる借金返済金は含まれていません。
- 修繕料には施設の維持管理にかかる工事請負費を含みます。

中津川・恵那地域勤労者福祉サービスセンター	27,494
中津川商工会議所	5,000
中津川北商工会	25,650
中津川市商業施策推進協議会	225
商店街街路灯電灯料	600
元気都市づくり支援事業	3,870
中津川産業フェア	1,800
小口融資信用保証料補給金	1,040
中心市街地観光客誘客促進事業補助金	1,500
中津川市観光協会	2,500
坂下観光協会	900
福岡観光協会	570
蛭川観光協会	365
山口観光協会	1,800
根の上高原観光事業	360
中津川夏まつり	7,000
中津川風流おどり保存連合会	1,200
坂下イベント事業	6,660
川上イベント事業	3,015
加子母イベント事業	1,530
付知イベント事業	4,770
福岡イベント事業	4,297
蛭川イベント事業	4,401
山口イベント事業	5,400
神坂イベント事業	200
中津川地域認定事業補助金	400

文化スポーツ部関係 6,876

郷土かるた普及事業	1,000
中津川市姉妹都市友好推進協会	800
民間国際交流事業	100
幡豆町交流事業(付知)	100
対馬市交流事業(蛭川)	1,000
小諸市・大磯町交流事業(山口)	500
阿木川湖ロードレース大会	150
スポーツクラブ	1,290
坂下還暦マラソン大会	450
地区運動会	1,486

基盤整備部関係 135,135

まちなみ景観形成事業	7,000
農林漁業資金償還元利補給金	79,184
苗木地区県営ほ場整備事業	11,991
阿木南部地区県営ほ場整備事業	7,463
坂本北部地区県営ほ場整備事業	364
神坂地区中山間地域農村活性化総合整備事業	1,842
団体営ほ場整備事業	3,065
加子母ほ場整備事業	6,246
林道開設事業償還元利補給金	3,513
木造住宅等耐震診断事業	1,000
木造住宅等耐震補強事業	12,600
住宅資金利子補給金	867

水道部関係 72,660

家庭用合併処理浄化槽設置整備事業	72,555
水洗便所等改造資金利子補給金	105

消防本部関係 500

女性防火クラブ	500
---------	-----

教育委員会関係 93,613

遠距離通学費	9,789
教育研究会	450
遠距離通園バス事業	304
低年齢児保育対策事業	12,319
延長保育対策費	21,040
障害児保育対策費	1,990
一時保育事業	810
私立幼稚園助成事業	4,055
私立幼稚園就園奨励費	41,606
子育てファミリープラザモデル事業	500
保育所地域活動事業	750

■特別会計

国民健康保険事業会計(事業勘定) 8,400

人間ドック助成金	8,400
----------	-------

下水道事業会計 620

水洗便所等改造資金利子補給金	620
----------------	-----

農業集落排水事業会計 437

水洗便所等改造資金利子補給金	437
----------------	-----

特定環境保全公共下水道事業会計 795

水洗便所等改造資金利子補給金	795
----------------	-----

個別排水処理事業会計 18

水洗便所等改造資金利子補給金	18
----------------	----